

平成22年度 東京都現代美術館年報
研究紀要 第13号

20

Annual Report 2010
Bulletin No.13

10

Museum of Contemporary Art Tokyo

20 目次 10

東京都現代美術館基本方針	4
沿革	5

平成22年度年報

I

事業報告

1 企画展	① 池田亮司 +/- (the infinite between 0 and 1)	15
	② メアリー・ブレア展	17
	③ 伊藤公象 秩序とカオス	20
	④ ラグジュアリー:ファッションの欲望	22
	⑤ レベッカ・ホルン 静かな叛乱 鴉と鯨の対話	26
	⑥ MOTアニュアル2010:装飾	28
	⑦ サイバーアーツジャパン—アルスエレクトロニカの30年	31
2 常設展		34
3 教育普及事業		49
4 美術資料の収集・保存・貸出		53
5 美術図書室の活動		58

II

資料

1 統計資料	① 平成21年度東京都現代美術館月別利用統計	62
	② 平成21年度東京都現代美術館予算概要	62
3 運営組織	① 職員名簿	63
	② 東京都現代美術館運営諮問委員、外部評価委員	64
4 施設概要(建物データ、美術館内マップ)		65
5 案内図		66

東京都現代美術館研究紀要

吉田克朗の1968年-1972年—立体造形(オブジェ)の時代/山本 雅美	69
YOSHIDA Katsuro's Three-dimensional Object Period 1968-1972 YAMAMOTO Masami	82

「現代」と「美術」を結ぶ「開かれた美術館」を実現するために――

1 「現代」と「美術」を結ぶ、魅力溢れるメッセージを発信する

東京都現代美術館は、日本の現代美術を中心とする美術作品・資料を体系的に収集・保管・展示する総合型美術館として開館以来運営してきました。これほどの規模で、日本の現代美術を常設している美術館は、国内外を通じて当館だけです。

こうした特性とともに、様々な文化が往来し、育まれる国際文化都市「東京」という舞台の利点を最大限に活かしながら、高いクオリティの追求と新たな展示手法への挑戦、そして収集作品・美術資料の積極的な公開・情報提供などにより、「現代」と「美術」を結ぶ魅力溢れるメッセージを世界に発信します。

2 「現代」を問う「美術」への、鑑賞者の裾野を広げる

「現代」を問い、「現代」を映し出そうとするコンテンポラリーアートは、これまでの“美術的なものの見方”の枠を超え、その領域や表現手法、表現内容を限りなく広げており、従来型の見方では、時に不可解で難解なものに映る傾向をもっています。このため、鑑賞力を高める積極的な教育普及活動を展開するとともに、話題性の高い展示企画をはじめ、社会や日常生活との関係を深めた親近性の高いテーマ設定の工夫、音楽演奏とのコラボレーション、さらにはホスピタリティの向上など、多角的な取組により、鑑賞者の裾野を広げます。

3 「現代」と「美術」を結ぶ、創造の担い手を育む

「現代(いま)」を映す新しいアートを、将来にわたって担い、創造・進化させていく主体は、現在の若手作家層です。当館は、東京都が文化政策指針の基本目標の第一として掲げた「世界が文化的魅力を感じる都市・東京」の中で示した「新進・若手アーティストの発掘・支援」を最重要ポリシーとして捉え、パブリックスペースを含めた全施設を活用して、「現代」と「美術」を結ぶ担い手を育てていきます。

以上の取組により、「開かれた美術館」を実現し、もって豊かな都民生活に資する、創造性と魅力に富んだ東京の都市づくりに貢献します。

昭和57(1982)年

12月 第一次東京都長期計画(昭和56-65年度)発表
新美術館区部一館、多摩地域一館を建設

昭和60(1985)年

9月 知事の諮問機関として「東京都新美術館建設構想懇談会
(嘉門安雄座長)」を設置

昭和61(1986)年

11月 「東京都新美術館建設構想懇談会」が、知事に新美術館
建設の構想について答申
第二次東京都長期計画(昭和61-70年)発表

昭和62(1987)年

10月 知事の諮問機関として「東京都新美術館建設計画委員会
(嘉門安雄委員長)」を設置

昭和63(1988)年

4月 東京都美術資料取得基金条例施行
12月 東京都新美術館美術資料収集方針決定
「東京都新美術館美術資料収集委員会」及び「東京都新
美術館美術資料評価委員会」を設置

平成元(1989)年

3月 「東京都新美術館建設計画委員会」が知事に新美術館の
建設計画について答申
10月 東京都公園審議会が、知事に木場公園の整備計画(新美
術館の設置)について答申
12月 東京都設計候補者選定委員会において設計候補者を選定
[株式会社TAK建築・都市計画研究所代表者柳澤孝彦]

平成2(1990)年

3月 都新美術館(区部)建設に伴う地質調査及び埋蔵文化財
試掘調査を実施
4月 「東京都新美術館(区部)建設推進委員会」(嘉門安雄委
員長)を設置
10月 東京都新美術館(区部)建設基本計画を発表
11月 東京都新美術館(区部)建設工事実施設計(～平成3年
5月)

平成3(1991)年

9月 東京都新美術館(区部)建設工事着工(～平成6年9月)

平成6(1994)年

4月 東京都現代美術館条例設置(東京都現代美術館発足)
財団法人東京都教育文化財団に東京都現代美術館の管
理運営を委託
9月 建設工事竣工
10月 東京都現代美術館条例施行

平成7(1995)年

3月 開館(記念式典挙行3月18日、一般公開3月19日)
開館記念展Ⅰ「日本の現代美術1985-1995」常設展「現
代美術の流れ」

平成11(1999)年

4月 組織変更に伴い、財団法人東京都教育文化財団から財
団法人東京都生涯学習文化財団に名称変更

平成14(2002)年

4月 東京都の文化施設一元化に伴い、所管が東京都教育委
員会から生活文化局に移り、管理運営委託先が財団法人
東京都生涯学習文化財団から財団法人東京都歴史文化
財団に変更

平成18(2006)年

4月 東京都が「財団法人東京都歴史文化財団」を指定管理
者に指定(3年間)

平成19(2007)年

10月 平成21年4月から8年間「財団法人東京都歴史文化財団」
を指定管理者に指定

平成20(2008)年

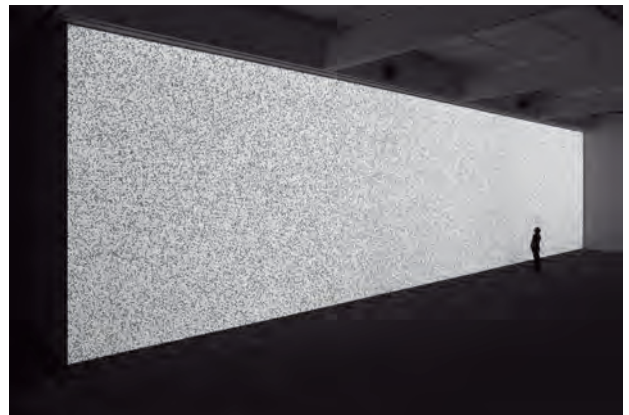
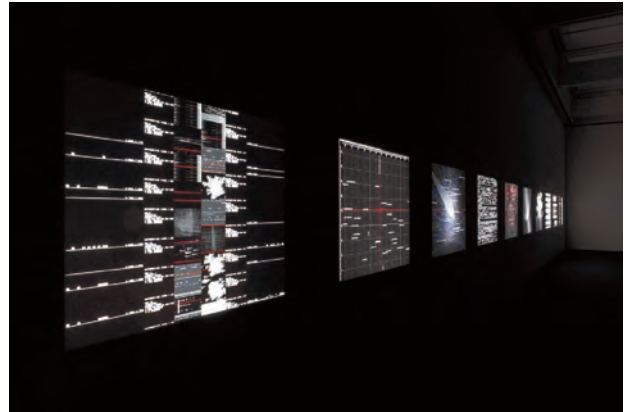
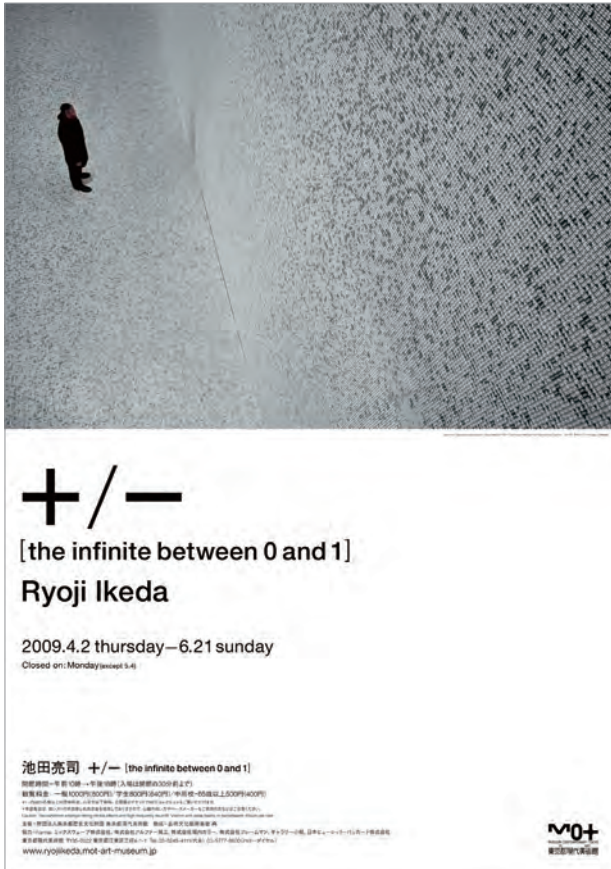
8月 開館以来500万人の来館者を達成

20

平成22年度年報

10

1 池田亮司 +/- [the infinite between 0 and 1]
Ryoji Ikeda +/- [the infinite between 0 and 1]



B2ポスター



展示風景〔撮影：丸尾隆一〕



A4チラシ

〔デザイン全て：近藤一弥〕



B2ポスター、A4チラシ表



A4チラシ裏

[デザイン全て: 加藤賢策(東京ピストル)]



展示風景 [撮影: 内田芳孝]

4 ラグジュアリー：ファッションの欲望 Luxury in fashion Reconsidered



B1ポスター



B3ポスター



チラシ表 見開

[デザイン全て：DoSQUAT]



展示風景 (撮影：畠山直哉)



特別展示 展示風景 (撮影：新津保建秀)

5 レベッカ・ホルン 静かな叛乱 鴉と鯨の対話
REBECCA HORN
Rebellion in Silence
Dialogue between Raven and Whale



B1ポスター



カタログ B5変型

[デザイン全て: 谷口 寛]



展示風景 [撮影: 木奥恵三]



B1ポスター、A4チラシ表

[デザイン: 志賀良和 SPROUT JAPAN]



a



b

展示風景

a. 黒田潔《森の目》ウォール・ペインティング 2001

b. 塩保朋子《Cutting Insights》紙 2008 高橋コレクション



B1ポスター、A4チラシ表

〔ホームページ、広報宣伝物デザイン：永原康史事務所〕



展示風景

I. 事業報告 | 1 企画展

1 池田亮司 +/- [the infinite between 0 and 1] Ryoji Ikeda: +/- [the infinite between 0 and 1]

会期	2009年4月2日(木)～6月21日(日)
会場	企画展示室1階、地下2階
開催日数	延べ71日間
観覧料	一般1000円、学生800円、中高生・65歳以上500円
入場者数	29,963人
一日平均	422人
出品点数	8点
カタログ	B5、144頁。出品作品および過去作品図版のほか、池田亮司氏と浅田彰氏の対談、ベネディクト・グロス氏のインタビュー [聞き手: デイヴィット・エドワーズ氏]、マーティン・ハーバート氏および長谷川祐子によるエッセイ、作家略歴、主要参考文献所収。
ポスター	B2、B3
チラシ	A4(両面カラー)

【開催趣旨】

日本の若手作家支援プログラムとして開催。作曲家／アーティストとして主に海外で活躍する池田亮司を大規模に紹介する本展は、現代美術のみならず、音楽やメディアアート、パフォーマンスに関心をもつ20代、30代の若者層に特に注目を集めた。広報においても美術関係だけでなく、音楽ファンに情報を提供できる大手CDショップ各店、メディア表現やテクノロジーの可能性を研究する大学院を主とした情報学、工学系の教室や講座に直接アプローチすることで、口コミやブログでの反響における連鎖反応も喚起し、会期後半も観客動員目標を超えてさらに多くの来場者を

よびこむことができた。

池田亮司は、舞台音響からスタートし、音響・映像作品を中心とした様々なプロジェクトを世界各地で展開してきたが、本展において美術館空間で初めてこれまでの試みを一つのインスタレーションとして構成し、またエッチングやプリントといった物質的な媒体による新しい表現展開を行った。本展は、今後の同作家の活動、あるいは広くメディアアートに美術館が新たな創造を提供する場、機会として機能する可能性を示したという意味でも、非常に重要な展覧会となった。

【関連事業】

- (1) 「池田亮司：若者とのトークセッション」 講堂
4月5日(土) 参加者108名

【主要関連記事】

- (1) 新聞
大西若人「美術 池田亮司 +/-展」『朝日新聞』2009年4月8日
HAMMOND, Michael, This fine art of zeros and ones, *The Japan Times*, April 11, 2009.
MARK, Cristoph, Ryoji Ikeda's infinite possibilities, *The Daily Yomiuri*, April 17, 2009.
前田恭二「池田亮司 +/-展」『読売新聞』2009年4月23日
中井康之「アート解剖学—現代美術再入門13 池田亮司「データ・トロン」」『京都新聞』2009年4月25日
岸桂子「感覚刺激する無限の光と音 池田亮司展」『毎日新聞』2009年6月15日
- (2) 雑誌
住友文彦「池田亮司 +/- [the infinite between 0 and 1]」『中央公論』2009年5月号[第124巻第5号、通巻1501号] p.9
「インタビュー 池田亮司」『Sound & Recording』2009年6月号[第28巻第6号、通巻338号] pp.36-37
四方幸子「〈崇高〉のスペクタクル化とその拡散」『美術手帖』2009年6月号[通巻922号] pp.168-169
小崎哲哉「Ryoji Ikeda: +/- [the infinite between 0 and 1]」『ART iT』2009年春号[No.23] pp.26-27
KONDO, Kenichi, Ryoji Ikeda: +/- [the infinite between 0 and 1], *ArtAsiaPacific*, July/August 2009, No.64, p.115

出品リスト

the transcendental (π) [n°1-a] (2009)

W1000×D1000mm
stainless steel etching
© 2009 ryoji ikeda

data.matrix [n°1-10] (2006-09)

W2480×H360cm (variable)
10 video projectors, 10 computers, 10 loudspeakers
concept, composition: Ryoji Ikeda
computer graphics, programming: Shohei Matsukawa,
Norimichi Hirakawa, Tomonaga Tokuyama
© 2009 ryoji ikeda

data.tron [3 SXGA+ version] (2007-09)

W2400×H600cm (variable)
3 video projectors, 3 computers, 2 loudspeakers
concept, composition: Ryoji Ikeda
computer graphics, programming: Shohei Matsukawa,
Norimichi Hirakawa, Tomonaga Tokuyama
courtesy of Gallery Koyanagi
© 2009 ryoji ikeda

data.film [n°1-a] (2007)

W10000×D50×H40mm
35mm film, LED, acrylic, aluminum
computer graphics, LED light box design: Shohei
Matsukawa
35mm film development, print: Color by Dejonghe n.v.
co-produced by Le Fresnoy Studio National des Arts
Contemporains and Forma
© 2007 ryoji ikeda

the transcendental (e) [n°2-a] (2009)

W1000×D1000mm
stainless steel etching
© 2009 ryoji ikeda

the transcendental (e) [n°2-b] (2009)

W1000×D100×H1000mm
digital photo print, aluminum
© 2009 ryoji ikeda

the irreducible [n°1-10] (2009)

10×W1000×D100×H1000mm
10 digital photo prints, aluminum
© 2009 ryoji ikeda

matrix [5ch version] (2009)

W10×H4×D25m (variable)
5 Meyer SB-1s (super-directional loudspeakers),
computer
© 2009 ryoji ikeda

2 「メアリー・ブレア展」 The Art of Mary Blair

会期	2009年7月18日(土)～10月5日(月)
会場	企画展示室1階、3階
開催日数	延べ73日間
観覧料	大人・大学生1,100円 中高生900円 小学生600円
入場者数	197,395人
一日平均	2,704人
出品点数	477点
カタログ	A4変型、304頁
ポスター	B1タテ、B2ヨコ
チラシ	A4、A4展開
主催	財団法人 東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、日本テレビ放送網、日本テレビ文化事業団
企画制作協力	スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館

【開催趣旨】

ディズニーの映画「シンデレラ」や「ふしぎの国のアリス」の色彩監督、ディズニーランド「イッツ・ア・スモールワールド」のデザインを手がけたメアリー・ブレアの創造と人生を大規模に紹介する初めての機会として開催した。500点を超える作品とともに、「イッツ・ア・スモールワールド」を模した展示構成や、アメリカにおけるアニメーションスタジオの成立などを含む歴史的背景も合わせて紹介

することで、内容の充実を図った。

アニメーションやイラストレーションの愛好者を中心に、一般、児童のみならず海外関係者からも好評を得、歴史的にも重要な展覧会となったといえよう。デザイン性に富んだ関連グッズも評判をよんだ。

【関連事業】

- (1) 8月11日(火) 「メアリー・ブレア展 先生のための特別研修」
参加者90名
- (2) 9月19日(土) 「増田春雄氏 講演会」
参加者70名
- (3) 9月22日(火・祝)および29日(火) 「小さな家、青い自動車ほか上映会」 全6回 29日の最終回はジブリ美術館・三好寛学芸員のトークもあわせて行った。
参加者計825名
- (4) 会期中通期 「立体パズル、フォトロケーション」

【主要関連記事】

- (1) 新聞
「なるほど鑑賞室 ディズニーの世界へ『メアリー・ブレア展』」『読売新聞(夕刊)』2009年9月19日
Mark, Cristoph, “The imagination behind Disney’s Imagineers / Paintings of progress by Mexican artists”, *The Daily Yomiuri*, July 24, 2009.
- (2) 雑誌
山内宏泰(構成・文)「ディズニーの世界に華開いた強烈な個性。ブレアの素顔に迫る!メアリー・ブレア展」『BT美術手帖』2009年8月号 pp.102-117.
東浩紀「東浩紀の批評するココロ メアリー・ブレア展の成功と日本の美術市場の未来」『週間朝日』2009年10月23日号 p.47.

出品リスト

自画像 1934年 水彩／紙 46.9×32.1cm J&M	風景 不明 水彩／紙 28.7×32.7cm The Goldberg Collection	J&M オーガスタ・ロドリゲス 無題 不明 インク、水彩／紙 30.4×25.8cm J&M
リー・ブレア 自画像 1940年代 油彩／カンヴァス 102.4×77cm J&M	リー・ブレア オールド・マンション 不明 水彩／紙 20.5×24.8cm J&M	リー・ブレア 海辺のメアリー(スケッチ) 1934年 木炭／紙 86.4×123.2cm J&M
リー・ブレア 海辺のメアリー 1934年 油彩／カンヴァス 87×122.5cm J&M	リー・ブレア セコイアの切り株 不明 水彩／紙 43.353.7cm J&M	絵皿(ジーンへのプレゼント) 1963年 陶器 21.2×21.2cm J&M
リー・ブレア 双子の姉妹 1940年代 油彩／カンヴァス 90×59.8cm J&M	リー・ブレア セイルフィッシュ・ボート 1960年代 水彩／紙 25.8×37.2cm J&M	絵皿(マギーへのプレゼント) 1963年 陶器 21.2×21.2cm J&M
ソリの二人 1930年代 水彩／紙 195×280cm J&M	リー・ブレア カリフォルニアの釣り人 1950年代 水彩／紙 43.5×53.8cm J&M	椅子の少女 1940年代 グアッシュ／ボード 12×92cm J&M
アイス・スケーター 1930年代 水彩／紙 197×279cm J&M	リー・ブレア ボートの釣り人 1960年代 水彩／紙 25.8×37.2cm J&M	ギターと恋人たち 1960年代 グアッシュ、コラージュ／紙 28.8×23.8cm J&M
意外な事実 不明 水彩／紙 51.6×35.8cm Frederick J. Cline	プレストン・ブレア 夜のケーブルカー 1930年代 ミクストメディア 39.8×52cm J&M	テディ・ベアを持つドノヴァン 1950年代 グアッシュ／ボード 39.5×29.8cm J&M
期待 1932年 水彩／紙 36×50cm Frederick J. Cline	プレストン・ブレア 接吻 1940年代 鉛筆、水彩／紙 55.9×62cm J&M	飛行機と赤いバジャマのドノヴァン 1950年代 グアッシュ／ボード 12×9cm J&M
招待 1930年代初め 水彩／紙 35.4×48.4cm Fred Cline	プレストン・ブレア 赤い花 1940年代 鉛筆、水彩／紙 63×71.8cm J&M	赤いカウボーイハットのドノヴァン 1950年代 グアッシュ／ボード 12.2×9.3 J&M
サンフランシスコ・ナイト 1934年 水彩／紙 46.9×34.6cm J&M	プレストン・ブレア 裸婦 不明 鉛筆、水彩／紙 74.4×55.5cm J&M	ブレア・ボーイズ 1950年代 グアッシュ／ボード 38.6×28.4cm J&M
ビート・パーティー 1936年 水彩／紙 43.5×54cm J&M	プレストン・ブレア サーカス 不明 木炭／紙 58.2×41.1cm J&M	ケヴィンとドノヴァン 1950年代 グアッシュ／ボード 25.2×20.5cm J&M
ストーマー・ビーチ 1936年頃 水彩／紙 52.738.7cm Rudy Lord, Debbie Lord	プレストン・ブレア 夜の並木道 1930年代 木炭／紙 48×65.5cm	ファミリー・トーテム 1960年代 アクリル／カンヴァスボード 74.5×23.2cm J&M
木立の風景 不明 水彩／紙 28.7×32.7cm The Goldberg Collection	プレストン・ブレア 夜の並木道 1930年代 木炭／紙 48×65.5cm	3頭のキリン 1960年代 ミクスト・メディア 37.8×22.7cm J&M

3頭の象 1960年代 ミクスト・メディア 28×43cm J&M	ミクスト・メディア 7×6.5cm J&M	『メロディ・タイム』より「リング作りのジョニー」1948年 コンセプト・アート 14点 ARL/J&M 背景画(作者不明) 1点 ARL
ポーカール・ベアーズ 1970年代 ミクスト・メディア 47.8×73.2cm J&M	ウォルター・ローリー卿 1950年代 ミクスト・メディア 30.4×25.2cm J&M	『わが心にかくも愛しき』1949年 コンセプト・アート 9点 ARL
モーニング・グローリー 1970年代 ミクスト・メディア 24.8×78.2cm J&M	『ファンタジア』より「時の踊り」 ラフ原画 18点(プレストン・ブレア)J&M キャラクター・シート 5点(プレストン・ブレア)J&M ストーリー・スケッチ 10点(リー・ブレア)J&M	『シンデレラ』1950年 コンセプト・アート 43点 ARL/J&M
ミ・カサ・エス・ス・カサ 1970年代 ミクスト・メディア 34×43.5cm J&M	『ファンタジア』より「トッカータとフーガ／ニ短調」1940年 ストーリー・スケッチ 6点(リー・ブレア)ARL	『ふしぎの国のアリス』1951年 コンセプト・アート 27点 ARL/J&M/Don Hahn
日曜学校 1960年代 ミクスト・メディア 39×29cm J&M	『ピノキオ』1940年 ストーリー・スケッチ 2点(リー・ブレア)ARL	『青い自動車』1952年 コンセプト・アート 1点 J&M セル画 1点 ARL
おかしな部屋の猫たち 1960年代 ミクスト・メディア 53.5×71.6cm J&M	『ドン・キホーテ』 コンセプト・アート 1点 The Goldberg Collection	『小さな家』1952年 コンセプト・アート 2点 J&M 背景画 1点 ARL
ヴィオレッタ 1970年代 ミクスト・メディア 53.5×73.2cm J&M	『ベネロベと12ヶ月』1940年 コンセプト・アート 34点 ARL	『ピーター・パン』1953年 コンセプト・アート 25点 ARL
ファンティシー 1970年代 ミクスト・メディア 51×76.2cm J&M	『わんわん物語』1955年 ストーリー・スケッチ 9点 ARL	『わたしはとべる』1951年 3点 Craig McCracken/Pete Docter
ウォーター・ベッド 1970年代 ミクスト・メディア 48.5×74.5cm J&M	『ベイビー・パレエ』1940年 ストーリー・スケッチ 43点 J&M/ARL コンセプト・アート 4点 ARL	グリーティングカード、イラストレーションほか 30点 J&M
レ・シャ(猫たち) 1978年 ミクスト・メディア 75.5×59.3cm J&M	南米スケッチ 20点(うち2点はジャック・ミラー作)J&M/Walt Disney Family Foundation/ARL	「イツツ・ア・スモールワールド」1964-69年 コンセプト・アート 40点 WDI レンジリング 3点 WDI/J&M
マイ・バレンタイン 不明	『ラテン・アメリカの旅』より「ブラジルへの旅」1943年 コンセプト・アート 6点 ARL	「ジュールズ・スタイン眼研究所」1966年 壁画デザイン 1点 WDI
	『三人の騎士』より「ホセ・キャリオカとブラジルの旅」1945年 コンセプト・アート 10点 ARL/The Goldberg Collection 背景画 1点 Don Hahn	「トゥモロー・ランド」1966-67年 コンセプト・アート(ハーバート・ライマン作) 1点 WDI 壁画デザイン 7点 WDI
	『三人の騎士』より「早撃ちバンチート登場」 コンセプト・アート 1点 J&MNo.206-214	「コンテンポラリー・ホテル」1969-71年 コンセプト・アート(ジョン・マクギニス作) 1点 WDI 壁画デザイン 13点 WDI
	『メイク・メイン・ミュージック』より「ふたつのシルエット」 コンセプト・アート 8点 ARL	「ウエスタン・リバーライド」 コンセプト・アート(マーク・デイヴィス作)1点 WDI コンセプト・アート 7点 WDI
	『南部の唄』1946年 コンセプト・アート 14点 ARL 背景画 1点 ARL	
	『メロディ・タイム』より「冬の出来事」1948年 コンセプト・アート 2点 ARL/J&M 背景画 1点(複製) ARL	

〈凡例〉
・作家名で記載のないものはすべてメアリー・ブレア
・映画作品等の表記は、映画タイトル、作品種別、括弧内メアリー・ブレア以外の作家名、点数、所蔵者
・所蔵の正式表記は以下のとおり
J&M Jeanne Chamberlain & Maggie Richardson
ARL Walt Disney Animation Research Library
WDI Walt Disney Imagineering

I. 事業報告 | 1 企画展

3 伊藤公象 秩序とカオス KOSHO ITO Works1974-2009

会期	2009年8月1日(土)～10月4日(日)
会場	企画展示室地下2階
開催日数	延べ60日間
観覧料	一般1,000円、学生800円、中高生・65歳以上500円
入場者数	18,482人
一日平均	308人
出品点数	17点
カタログ	A5横変型、148頁。出品作品図版の他、乾由明「伊藤公象の世界」、谷新「伊藤公象/襲なるものと土のバロック」、井野功一「recycle/rebirth伊藤公象—制作の転生」、森千花「多軟面体への道」、作家略歴、参考文献所収。
ポスター	B2,B3
チラシ	A4
展示ガイド	A3

【開催趣旨】

1970年代より現在まで土／陶を用い、その斬新な表現や技法により国際的に注目を集めてきた伊藤公象。本展は開催時に77歳を迎えたベテラン作家、伊藤公象の初の本格的な回顧展であり、作品が大型ゆえに全貌を把握することが難しかった作家の約35年の足跡を紹介するものである。

本展では当館の展示空間に合わせて、作家が新たに再構成したインスタレーション作品が一堂に会し、迫力ある空間を作り出

した。例えば、高さ19メートルのアトリウム、石に囲まれたサンクンガーデン、通常は展示に使わない池のほとりの空間など、当館ならではの特徴ある場を積極的に使い、空間を効果的に採り込む手法に評価が集まった。技法やその展示方法に色濃く表れる伊藤公象の“人為を抑え自然を活かす”創作は、現在においてなお新たな発見と可能性に満ちており、伝統と現代美術の関係を再考する上で貴重な機会を提供した。

【関連事業】

- (1)「作家によるアーティスト・トーク」
9月20日(日) 13:00～14:00 参加者95名 講師：伊藤公象
- (2)「タッチ&トーク」
(作品の一部を特別に手で触って確かめながらの特別鑑賞ツアー)
8月9日(日)、8月23日(日)、9月19日(土) 各日11:00～12:00 参加者のべ40名
- (3)「こどものためのアートピクニック“ひみつの観察”」
(作品の部分を観察して楽しむ小学生のためのプログラム)
8月23日(土)、24日(日) 各日13:30～15:30 小学校3～6年生 25名
- (4)「先生のための特別研修会」
8月11日(火) 13:30～16:30 40名
- (5)「ワークショップ“伊藤公象の追体験”」
(作家と同じ技法で作品を作ってみる追体験ワークショップ)
9月13日(日) 13:00～15:30 大人14名 講師：伊藤公象
- (6)「さわって楽しめるトレジャーワゴン」
(作品のパーツが展示室に登場。手に取りながらの作品鑑賞プログラム)
10月4日(日) 13:00～14:00、16:00～17:00 参加者のべ500名

【主要関連記事】

- (1) 新聞
前田恭二「伊藤公象WORKS1974-2009 土の変幻 生命の形へ」
『読売新聞』2009年8月6日
D.H.Rosen “Breaking all the rules in ceramics” *The Japan Times*, August 14, 2009
西田健作「伊藤公象展と日本陶芸展 やきものは、表現か用か」
『朝日新聞』(夕刊) 2009年8月26日
平野啓一郎「伊藤公象WORKS1974-2009」 『日本経済新聞』
2009年9月10日
伊藤公象「土の襲 2つの美術館での個展から」『茨城新聞』2009年9月14、9月16日、9月21日
窪田直子「伊藤公象の不思議な造形 自然を土に写し取る」『日本経済新聞』2009年9月20日
- (2) 雑誌
稔澤彩「大地に欠かすことのできない土、それは空気のような存在」
『KANON』2009年8月28日 p.17
「自然と対話する陶造形の魅力を発見 伊藤公象展」 『ART NAVI』2009年9月17日号 pp.20-21
外館和子「関東の陶芸展 伊藤公象1974-2009」『陶説』2009年10月、679号、p.71

出品リスト

44の染体 1976 約154片(各直径約25cm) 陶土 東京都現代美術館	濃紫の多軟面体 2009 約1000片 陶土 作家蔵
染体No.3 1978 約600片(520.5×300.7cm) 陶土、アクリル、ハーフミラー 茨城県陶芸美術館	JEWELの襲 2002/2009 陶土、黄土、長石 作家蔵
黄化No.3 1979 約80×130×110cm 陶土、アクリル 茨城県陶芸美術館	JEWELの襲77 2009 陶土、アルミナ、長石、顔料ほか 作家蔵
アルミナのエロス(白い固形は・・・) 1984/2009 約600片 アルミナ、長石 東京都現代美術館	
木の肉・土の刃 1991 約1100片(各30×0.5×16cm) 磁土(カオリン) 高松市美術館	
木の肉・土の刃II 1993 約1500片(各h.15-30cm) 磁土(プラチナ焼付)、陶土 愛知県美術館	
異なった土の収縮による断片 1993 磁土、プラチナ焼き付け、陶土 作家蔵	
焼凍土 1996 4片(各15×35×35cm) 磁土 作家蔵	
客土シリーズ 長石による襲No.2 2000 207片(各約10×10×100cm) 陶土、長石、顔料 作家蔵	
客土シリーズ 長石による襲No.3 2000 156片(各約15×40×30cm) 長石、顔料 作家蔵	
海の襲 2002 約2000片 陶土、砂 作家蔵	
土の襲—青い凍結晶— 2007 95片(各45×45cm) 陶土(赤土)、顔料 作家蔵	
土の襲 踊る焼凍土 2008 直径800cmの円形に展開 陶土 作家蔵	
白い襲 2008—2009 紙約350枚(各50×50cm) 紙、布 作家蔵	

4 「ラグジュアリー：ファッションの欲望」展 Luxury in fasion Reconsiderd

特別展示

東京文化発信プロジェクト「妹島和世による空間デザイン／コム・デ・ギャルソン」

Special Exhibit

A Tokyo Culture Creation Project

Kazuyo Sejima Spatial Design for Comme des Garçons

会期	2009年10月31日(土)～2010年1月17日(日)
会場	企画展示室地下2階、アトリウム(特別展示)
開催日数	延べ64日間
観覧料	一般1200円、大学・専門学校生900円、65歳以上800円、中高生600円 (特別展示のみ 無料)
入場者数	41,469人
一日平均	648人
出品点数	121点
カタログ	A4変形 208頁
ポスター	B1 B3
チラシ	A3二つ折り

【開催趣旨】

「身体の夢：ファッションOR見えないコルセット」展(1999年)に続き、京都服飾文化研究財団(KCI)との共催で、「ラグジュアリー(贅沢)」をテーマに行ったファッションの展覧会。KCIのコレクションを中心に、ポール・ポワレ、シャネル、バレンシアガ、クレージュ、ヴィクター&ロルフ、メゾン・マルタン・マルジェラ他、17世紀から現代までの精選した衣装を展覧し、社会の動きや価値観を反映するファッションを、ラグジュアリーという視座から再考した。若い世代にとっては、時間をかけ手仕事の粋をきわめた豪華な古い衣装の持つ豊かさに触れる貴重な経験となり、専門家

からは、見た目の豪華さのみならず、デザイナーの思考や着用者の自発的な行動をうながす現代のファッションをとりあげ現代における「ラグジュアリー」を問うた点を評価された。

また、アトリウムにて、日本を代表するファッションデザイナー、川久保玲(コム・デ・ギャルソン)の服32点を世界的に活躍する建築家、妹島和世デザインによる空間で特別展示を行った。透明で湾曲したアクリル板が重なり合う空間に、革新的なコム・デ・ギャルソンの服が浮かぶような展示の中を観客が自由に行き来することができる斬新な展示で好評を得た。

【関連事業】

(1) MOT美術館講座

①11月21日(土)「たかが服、されど服」

講師：鷲田清一(哲学者、大阪大学総長)

講堂 参加者197名

②11月22日(日)「妹島和世によるワークショップ」

参加者 小学校3～6年生とその保護者計28名

③1月11日(祝) パフォーマンス「RAP-韻訳ロミオとジュリエット」

出演：長澄(ラップ・パフォーマー) 2回実施 参加者計108名

(2) エデュケーション・プログラム

①11月13日(金)「先生のための特別研修会」

②11月、12月の毎週火・木曜日

「ミュージアムスクール」(学校向け鑑賞教室)

③12月19日(土)、20日(日)

「親子で楽しむギャラリー・クルーズ」

(3) 特別展示関連企画

contact Gonzoによるパフォーマンス

11月23日(祝)15:00 エントランスホール

参加者約200名

【主要関連記事】

(1) 新聞

「ファッションの本質を解く」『日本繊維新聞』2009年10月30日

「「ART」既成概念に挑むスピリット」『サンケイエクスプレス』2009年11月17日

Kumi Matsumaru, See luxury changing with times, The Daily Yomiuri, November 27, 2009

(2) 雑誌

建築家、妹島和世が語る、芸術品としてのファッションの魅力『ヴォーグ』(日本版)2009年12月

私たちがファッションに求める本当の豊かさとは?『ecocolo』2009年12月

「ラグジュアリー：ファッションの欲望」『建築ノートextra』(ムック)2009年12月

出品リスト

「ラグジュアリー：ファッションの欲望」展	ニコラ・ゲスキエール(バレンシアガ) スーツ、サンダル	2004年秋冬 KCI
ポティス イギリス 1600年頃 KCI(京都服飾文化研究財団)	2008年春夏 KCI	ロイ・リキテンスタイン(テキスタイル・デザイン)、リー・ルド・シン ンプソン(ドレス・デザイン)
ドレス イタリア 18世紀前半 KCI	イヴニング・ドレス、ショール インド? 1850年頃 KCI	ドレス 1965年頃 KCI
紳士服(コート、ウエストコート、ブリーチズ) イタリア 18世紀前半 KCI	イヴニング・ドレス インド? 1850年頃 KCI	ヒール フランス 1925年頃 KCI
宮廷服 スペイン 1820年頃 KCI	ドレス イタリア 1908年頃 KCI	ポール・ボワレ デイ・ドレス「カザン」 1911~12年 KCI
ウエディングドレス イギリス 1882年頃 KCI	カール・ラガーフェルド(シャネル) ドレス 1997年春夏オートクチュール KCI	ポール・ボワレ コート・ドレス 1920年 KCI
シャルル・フレデリック・ウォルト イヴニング・ドレス 1900年 KCI	ティエリー・ミュグレー ドレス 1984年秋冬 KCI	マドレーヌ・ヴィオネ デイ・ドレス 1925年頃 KCI
ドレス(ローブ・ア・ラ・フランセーズ) イギリス 1760年頃 KCI	ポール・ボワレ 仮装衣装 1914年 KCI	シャネル デイ・アンサンブル 1928年-29年 KCI
マンチュア(イギリス宮廷服) イギリス 1740~50年代 KCI	ポール・ボワレ 仮装衣装 1913年 KCI	シャネル ドレス 1926年頃 KCI
男性用スーツ(アビ・ア・ラ・フランセーズ) フランス 1780年頃 KCI	ウォルト イヴニング・ドレス 1927年頃 KCI	シャネル デイ・アンサンブル 1927年頃 KCI
男性用スーツ(コート、ウエストコート、ブリーチズ) フランス 1760年頃 KCI	ペール イヴニング・ドレス 1919年 KCI	マドレーヌ・ヴィオネ イブニング・ドレス 1929年 KCI
男性用スーツ(アビ・ア・ラ・フランセーズ) フランス 1790年頃 KCI	ピエール・カルダン ドレス 1966年秋冬 KCI	マドレーヌ・ヴィオネ ドレス 1921年 KCI
紳士服(コート、ウエストコート、ブリーチズ) フランス 18世紀中期 KCI	イヴ・サンローラン ドレス 1967年春夏 KCI	クリスチャン・ディオール ドレス「シガール」 1952年秋冬 KCI
ドレス(ローブ・ア・ラ・フランセーズ) フランス 1770年代後半(素材1750年代-60年代) KCI	クレージュ ドレス 1967年秋冬 KCI	バレンシアガ デイ・アンサンブル 1960年頃 KCI
ドレス(ローブ・ア・ラ・フランセーズ) フランス 1775年頃 KCI	エルザ・スキヤパレリ イヴニング・ケープ 1938年 KCI	バレンシアガ コート 1963年 KCI
ドレス(ローブ・ア・ラ・フランセーズ) フランス 1780年頃 KCI	シャネル イヴニング・ドレス 1937年頃 KCI	マドレーヌ・ヴィオネ ティー・ガウン 1937年頃 KCI
ヴィクター・ホルスティンク、ロルフ・スノーレン(ヴィクター&ロ ルフ) ドレス「カロリーナ」 2005年春夏 KCI	クリスチャン・ディオール イヴニング・ドレス 1955年秋冬 KCI	マドレーヌ・ヴィオネ イヴニング・ドレス 1933年頃 KCI
	マーク・ジェイコブス(ルイ・ヴィトン) コート、バック	バレンシアガ イブニング・ドレス 1965年頃

KCI	KCI	KCI
イヴ・サンローラン スモッキング・ジャケット 1986年秋冬 KCI	畠山直哉 2009年 ラムダ・プリント ドレス コム・デ・ギャルソン 1992年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) パンツ 2007年秋冬 メゾン・マルタン・マルジェラ/このえ株式会社
バレンシアガ ドレス 1966年秋冬 KCI	畠山直哉 2009年 ラムダ・プリント ドレス コム・デ・ギャルソン 1983年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ウエストコート 1989年秋冬 メゾン・マルタン・マルジェラ
クリストバル・バレンシアガ(エイサ) デイ・ドレス 1958年秋冬 KCI	畠山直哉 2009年 ラムダ・プリント スカート コム・デ・ギャルソン 1983年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) イヴニング・ドレス 2005年秋冬 メゾン・マルタン・マルジェラ/このえ株式会社
バレンシアガ デイ・ドレス 1958年春夏 KCI	畠山直哉 2009年 ラムダ・プリント ドレス コム・デ・ギャルソン 1983年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) トップ 2008年春夏 メゾン・マルタン・マルジェラ
アルベール・エルバス(ランバン) ドレス 2007年秋冬 KCI	畠山直哉 2009年 ラムダ・プリント ドレス コム・デ・ギャルソン 2008年春夏 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ドレス 2008年秋冬 メゾン・マルタン・マルジェラ
イヴ・サンローラン(クリスチャン・ディオール) デイ・ドレス 1958年春夏 KCI	畠山直哉 2009年 ラムダ・プリント ドレス コム・デ・ギャルソン 1998年春夏 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) チュニック 2009年春夏 メゾン・マルタン・マルジェラ
クレージュ パンツ・スーツ 1969年秋冬 KCI	畠山直哉 2009年 ラムダ・プリント アンサンブル コム・デ・ギャルソン 1983年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) デニム 2009年春夏 メゾン・マルタン・マルジェラ
イヴ・サンローラン ドレス(モンドリアン) 1965年秋冬 KCI	畠山直哉 2009年 ラムダ・プリント アンサンブル コム・デ・ギャルソン 1987年春夏 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ボレロ 2009年春夏 メゾン・マルタン・マルジェラ
グレ ドレス 1944年頃 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ジャケット 2006年春夏 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ドレス 2009年春夏 メゾン・マルタン・マルジェラ
川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1992年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ウエストコート 2006年春夏 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ショート・ドレス 2009年春夏 メゾン・マルタン・マルジェラ
川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1983年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ジャケット 2007年秋冬 メゾン・マルタン・マルジェラ	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ドレス 2009年春夏 メゾン・マルタン・マルジェラ
川久保玲(コム・デ・ギャルソン) スカート 1983年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ジャケット 2006年春夏 メゾン・マルタン・マルジェラ	特別展示 東京文化発信プロジェクト 「妹島和世による空間デザイン/コム・デ・ギャルソン」
川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1983年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ドレス 2007年春夏 KCI	川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1991年秋冬 KCI
川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 2008年春夏 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) トップ 2005年秋冬 KCI	川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1993年春夏 KCI
川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1998年春夏 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ドレス 2006年秋冬 メゾン・マルタン・マルジェラ	川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1995年秋冬 KCI
川久保玲(コム・デ・ギャルソン) アンサンブル 1983年秋冬 KCI	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ドレス 2008年秋冬 メゾン・マルタン・マルジェラ/このえ株式会社	川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1997年春夏 KCI
川久保玲(コム・デ・ギャルソン) アンサンブル 1987年春夏	マルタン・マルジェラ(メゾン・マルタン・マルジェラ) ドレス 2008年春夏	川久保玲(コム・デ・ギャルソン) ドレス 1997春夏 KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
1997年春夏
株式会社コム テ ギャルソン

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
1997年春夏
株式会社コム テ ギャルソン

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
1997年春夏
株式会社コム テ ギャルソン

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
1997年春夏
株式会社コム テ ギャルソン

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
1997年秋冬
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2000年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2000年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2000年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
2000年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
2000年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2000年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2000年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
2000年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
2001年秋冬
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
2001年秋冬
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
2002年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2002年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
スカート
2004年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
スカート
2004年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
スカート
2004年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ジャケット、スカート
2005年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2005年秋冬
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
2006年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
アンサンブル
2006年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2006年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
"コート、スカート"
2008年春夏
KCI

川久保玲(コム・テ・ギャルソン)
ドレス
2008年春夏
KCI

I. 事業報告 | 1 企画展

5 レベッカ・ホルン 静かな叛乱 鴉と鯨の対話 REBECCA HORN Rebellion in Silence Dialogue between Raven and Whale

会期	2009年10月31日(土)―2010年2月14日(日)
会場	企画展示室3階、1階
開催日数	88日
観覧料	一般1,200円、65歳以上800円、学生900円、中高生600円
入場者数	36,306人
一日平均	413人
出品点数	32点
カタログ	B5変形182頁。出品作品図版のほか、ドリス・フォン・ドラーテン、セルジオ・エデルスタイン、担当学芸員によるエッセイのほか、略歴、年譜、文献、作品解説を掲載。
ポスター	B1、B3
チラシ	A4
解説パンフレット	A5(A3四つ折り)

【開催趣旨】

ドイツの現代美術家レベッカ・ホルン(1944-)の、日本で初めての個展。70年代初頭、他者とのコミュニケーションの回復や自然との交感を求めパフォーマンスを開始したホルンは、そこで身につけた、知覚の拡張装置を、機械仕掛けで動く立体作品へと発展させていく。その後、十年に及ぶ滞米生活では長編映画を手がけ、また1980年代に活動の拠点を母国に移してからは近現代史と向き合い、個人の体験を社会の記憶と結びつける仕事で新たな評価を得てきた。本展は、パフォーマンスの記録から長編映画まで、映像の代表作全てと、近年の作曲家との協働によるインスタレーションやドローイング等代表作30余点で、自然や人間の

様々なエネルギーの流れを、目に見えるかたちに変換していく独自の世界を紹介する試みであった。

その作品は、文学や歴史などを参照する深い奥行きと、現代社会のアクチュアルな問題を、高度に洗練された視覚芸術へと昇華させたものだが、とりわけ映像作品や近作は幅広い年齢層の関心を惹起した。会期中、展示のため来日したホルンや研究者によるレクチャーをはじめ、ガイド・スタッフやインターン、学芸員によるギャラリー・トークなど、関連プログラムを多数実施した。

【関連事業】

- (1) アーティスト・トーク
レベッカ・ホルン×ハイデン・チザム(作曲家)
2009年10月31日(土) 14:00～ 講堂 200名
- (2) 対談
半田真規氏(アーティスト)×長谷川祐子
「レベッカ・ホルンをめぐって」
2010年1月14日(木) 16:00～ 講堂 70名
- (3) 講演会
香川 檀氏(武蔵大学教授)
「レベッカ・ホルンの〈花嫁機械〉」
2010年1月31日(日) 15:00～ 講堂 90名
- (4) ギャラリー・レクチャー
① インターンによる、展示室でのレクチャー
2010年1月15日(金) 14:00～ 企画展示室 中2階 30名
② 学芸員による、展示室でのレクチャー
2010年1月22日(金) 14:00～ 企画展示室 中2階 30名
- (5) ガイド・スタッフによるギャラリー・トーク
毎週土日と祝日 15時～ 企画展示室 3階 30～40名

【主要関連記事】

- (1) 新聞
菅原教夫「創造神話」『読売新聞』2009年11月16日 P.12
大西若人「美と出会う」『朝日新聞』2009年12月16日 P.3
Andrew Maerke, “Rediscovering Rebecca Horn” *The Japan Times*, November 20, 2009, P.15
平野啓一郎「レビュー」『日本経済新聞』2010年1月14日 P.26
「レベッカ・ホルン展」『千葉日報』2010年1月27日 P.8
- (2) 雑誌
中村富美子「きんようぶんか」『週刊金曜日』2009年12月9日 P.43
「Art News」『芸術新潮』2009年12月 PP.92-95
C.B. Liddell, “Art” *Metropolis*, December 4, 2009, P.16
保坂健二郎「プレイヤード」『すばる』2009年12月 PP.374-375
宮村周子「レベッカ・ホルン」『Switch』2010年1月 PP.12-123
Ota Mutsuko「Bazaar and Women」『Harper’s Bazaar』2010年1月 PP.134-137
藤原えりみ「レベッカ・ホルン 雄弁な沈黙」『Numero Tokyo』2010年1-2月 PP.174-177
Rebecca Milner, “Review” *The ACCJ Journal*, February 2010, P. 50
長谷川祐子「Artist Interview」『美術手帖』2010年2月 PP.213-229

出品リスト

過ぎゆくとき 1990-91 ハリウッド映画のフィルム、石炭、ガス温度計、双眼鏡、銅製の蛇、バスター・キートンの靴、金属構造、モーター サイズ可変 ドイツ対外文化交流研究所	ガラス、スチール、写真、色鉛筆、真鍮、モーター 43×42×10 cm 作家蔵	過去をつきぬけて 1995 16mm、カラー、サウンド、英語、字幕：横関裕子 55min ドイツ対外文化交流研究所
オイスター・ピアノ 1992 カキの殻、金属の球、金属構造、モーター 7×43×39.5cm ドイツ対外文化交流研究所	ビーコック・ペンシル・モーニング 2009 色鉛筆、スチール、モーター 55×83×60cm 作家蔵	ペンシル・マスケ 1972 パフォーマンス 5'45 ドイツ対外文化交流研究所
ペインティング・マシーン 1999 ガラス漏斗、インク、継電器、金属構造、モーター サイズ可変 作家蔵	妖精モルガン 2009 ビデオ、カラー、音楽：ハイデン・チザム 15min 作家蔵	雄鶏の羽根のマスク 1973 パフォーマンス 2'35 ドイツ対外文化交流研究所
ペソアのためのハート・シャドウ、シネマ・ヴェリテ 2005 円形の容器、黒い水、プロジェクター、銅製の蛇、金属構造、モーター、音楽：ハイデン・チザム サイズ可変 作家蔵	渡り鳥の隊列が新たにテキストをえがく 2007 鉛筆、墨、グワッシュ、紙 182×150cm 作家蔵	鴉の選択 2009 スチール、ガラス、鴉の羽根、日本の靴、真鍮の棒、ガチョウの卵、鉛筆、モーター 作家蔵
アナーキーのためのコンサート 2006 グランドピアノ、金属構造、モーター 166×137×178 cm 作家蔵	神の恋人が悩ます 2007 鉛筆、墨、グワッシュ、紙 182×150cm 作家蔵	
双眼鏡のピンポン 2008 双眼鏡2個、ピンポン球2個、スチール、モーター 160×40×35cm 作家蔵	魂の滴 2008 鉛筆、墨、グワッシュ、紙 182×150cm 作家蔵	
ジェイムズ・ジョイスのためのヌーグル・ドーム 2004 ナイフ、金属構造、モーター 60×110×40cm 作家蔵	汚れた受胎 2008 鉛筆、墨、グワッシュ、紙 182×150cm 作家蔵	
鴉の木 2009銅、スチール、石炭粉末、ガラス漏斗、モーター 500×420×400cm 作家蔵	バタフライ・ムーン 2009 スチール、ガラス、蝶、青色顔料、鉛筆、モーター 100×70×19cm 東京都現代美術館蔵	
相互破壊の場 1992 鏡2枚、ピストル2丁、弾、金属構造、モーター サイズ可変 作家蔵	パフォーマンス 1 1972 16mm、カラー、サウンド 22min ドイツ対外文化交流研究所	
双子の鴉 1997 鴉の羽根、金属構造、モーター サイズ可変 作家蔵	パフォーマンス 2 1973 16mm、カラー、サウンド 38min ドイツ対外文化交流研究所	
鯨の腑の光 2002 水槽、黒い水、鍍金した棒、プロジェクター6機(自作の詩を投影)、モーター、音楽：ハイデン・チザム サイズ可変 作家蔵	ベルリン—9つのパートからなるエクササイズ水中で遠くのものを見る 1974-75 16mm、カラー、サウンド 42min ドイツ対外文化交流研究所	
浮遊する魂 1990 楽譜、金属構造、モーター 61×51×38cm 作家蔵	ダンス・パートナー 1978 16mm、カラー、サウンド、英語、字幕：横関裕子 47min ドイツ対外文化交流研究所	
恋の逃避、貝の眠り 2009 歯車、真鍮、スチール、貝殻、モーター 80×180×30cm 作家蔵	ラ・フェルティナンダメティチ邸のためのソナタ 1981 35mm、カラー、サウンド、ドイツ語、字幕：吉川美奈子 85min ドイツ対外文化交流研究所	
カリフの口髭はディアヌ・ド・ポワティエを愛撫する 2009	バスターの寝室 1990 35mm、カラー、サウンド、英語、字幕：関 美冬 104min ドイツ対外文化交流研究所	

6

MOT アニュアル2010: 装飾展

MOT ANNUAL 2010: Neo – Ornamentalism from Japanese Contemporary Art

会期	2010年2月6日(土)～4月11日(日)
会場	企画展示室3, 1階
開催日数	延べ56日間(うち年度内46日間)
観覧料	一般 1,000円 学生・65歳以上 800円 中高生 500円
入場者数	22,636人(うち年度内は18,149名)
一日平均	404人(うち年度内395名)
出品点数	34点
カタログ	120頁(表紙 4種)
ポスター	B2 B3
チラシ	A4 (両面カラー)

【開催趣旨】

20世紀のモダニズム／モダン・アートで否定された「装飾」を現代若手作家の表現に見だし、現代を読み取ろうという試み。青木克世、小川敦生、黒田潔、塩保朋子、野老朝雄、松本尚、森淳一、水田寛、山本基、横内賢太郎ら、10名の作家による絵画、彫刻、陶、ウォール・ペインティング、インスタレーションなど、バ

ラエティに富んだ新作を中心とした展示を行った。

国内最大級の展示空間を生かしたダイナミック、かつ繊細な表現は幅広い観客層に受け入れられ、過去10回のアニュアル展でも、最高の入館者を数えた。インターネット上に作家のインタビューを動画で配信し、好評を得た。

【関連事業】

- (1) 講演会「現代と装飾ー祈りと思考のマイクロコスモス」
2月27日(土) 参加者110名
講師：鶴岡真弓(多摩美術大学教授/装飾デザイン史・ケルト芸術研究)
- (2) アーティスト・トーク
 - ①2月6日(土) 参加者65名
講師：塩保朋子、松本尚、水田寛、山本基、横内賢太郎
 - ②2月21日(日) 参加者60名
講師：青木克世、森淳一
 - ③3月7日(日) 参加者55名
講師：小川敦生、山口絵美(連写作家)
 - ④3月21日(日) 参加者65名
講師：黒田潔、工藤キキ(アート・ライター)
 - ⑤4月4日(日) 講堂 参加者165名
講師：野老朝雄、鳴川肇(構造家・建築家)
- (3) クロージングイベント 「山本基 〈海に還る〉」
4月11日(日) 参加者120名
出演：よしうらけんじ(パーカッション)、類家心平(トランペット)

【主要関連記事】

- (1) 新聞
 - 大西若人 「「MOTアニュアル2010 装飾 「静かな増殖」に潜む現代の意識」(朝日新聞 3月17日)
 - 児島やよい 「「MOTアニュアル2010: 装飾」& 「アーティスト・ファイル2010」 展示空間に挑む」(東京新聞 2010年3月12日)
 - 岸佳子 「@展覧会 MOTアニュアル2010 呪縛から解放された装飾」(毎日新聞 2010年3月2日)
 - 宝玉正彦 「物事を飾る精神探る 「MOTアニュアル2010: 装飾」展」(日本経済新聞 2010年3月17日)
- (2) 雑誌
 - 川上典李子 「「装飾」の意味を再び探る、10人のエモーショナルな問いかけ」(Pen 2月号)
 - 五十嵐太郎 管啓次郎 「Art Cross Cultural Review MOTアニュアル2010: 装飾」(嗜み 3月号)
 - 「Stardust review of exhibitions 日本装飾狂時代 MOTアニュアル2010: 装飾展より」(芸術新潮 2010年3月号)
 - 「BT Recommnds! 装飾に宿る時代精神 MOTアニュアル2010: 装飾」(美術手帖 2010年3月号)

出品リスト

■黒田潔 Kiyoshi KURODA

森の目
2010年
ウォール・ペインティング
6300×26830cm
Eyes of the forest
2010
Wall painting
6300 × 26830 cm

風の通り道
2010年
アクリル、色鉛筆、パネル
φ 90×15cm
作家蔵
Corridor of wind
2010
Acrylic, color pencils, panel
φ 90×15cm
Collection of the artist

■森淳一 Junichi MORI

flare
2009年
木
177×177×9cm
作家蔵
flare
2009
Wood
177×177×9cm
Collection of the artist
Courtesy: Mizuma Art Gallery

minawa
2008年
木
82×82×2.5cm
作家蔵
minawa
2008
Wood
82×82×2.5cm
Collection of the artist
Courtesy: Mizuma Art Gallery

0003039143
2010年
ラムダプリント、アクリルマウント
102.5 × 145.3 cm
作家蔵
0003039143
2010
Lambda print, acrylic mount
102.5×145.3 cm
Collection of the artist
Courtesy: Mizuma Art Gallery

minawa-0
2008年
木
38×40×2 cm
個人蔵
minawa-0
2008
Wood
38×40×2 cm
Private collection
Courtesy: Mizuma Art Gallery

doll. hand
2010年
リソサムニウム、タグアナッツ、アクリル
25×25×27cm
作家蔵
doll. hand
2010
Lithothamnium, tagua nut, acrylic
25×25×27cm
Collection of the artist
Courtesy: Mizuma Art Gallery

flare (birds)
2010年
木
48×36×37 cm
作家蔵
flare (birds)
2010
Wood
48×36×37cm
Collection of the artist
Courtesy: Mizuma Art Gallery

flare-0
2009年
木
13.5×13×13cm
作家蔵
flare-0
2009
Wood
13.5×13×13cm
Collection of the artist
Courtesy: Mizuma Art Gallery

■青木克世 Katsuyo AOKI

Tell the Story
2006年
陶磁
200×30×30cm
作家蔵
Tell the Story
2006
Ceramic
200×30×30cm
Collection of the artist
Courtesy: Röntgenwerk A

Trolldom
2010年
陶磁
350×220×35cm
作家蔵
Trolldom
2010
Ceramic
350×220×35cm
Collection of the artist
Courtesy: Röntgenwerke AG

MANIERA I
2009年
陶磁
162×207×18cm
作家蔵
MANIERA I
2009
Ceramic
162×207×18cm
Collection of the artist
Courtesy: Röntgenwerk AG

MANIERA II
2009年
陶磁
162×207×18cm
作家蔵
MANIERA II
2009
Ceramic
162×207×18cm
Collection of the artist
Courtesy: Röntgenwerk AG

予知夢VII
2009年
陶磁
16×17×23cm (台座を除く)
大西洋氏蔵
Predictive dream VII
2009
Ceramic
16 ×17×23cm (exclude pedestal)

Collection of Mr. Hiroshi Ohnishi
Courtesy: Röntgenwerke AG

予知夢IX
2009年
陶磁
21.5×39×31cm
個人蔵
Predictive dream IX
2009
Ceramic
21.5×39×31cm
Private collection
Courtesy: Röntgenwerke AG

■山本基 Motoi YAMAMOTO

迷宮
2010年
塩によるインスタレーション
1000×1725cm
Labyrinth
2010
Salt
1000×1725cm
Courtesy: Röntgenwerke AG

■小川敦生 Atsuo OGAWA

cutter knife skating I
2010年
石鯿にエングレーヴィング
58×58×5cm
作家蔵
協力: 玉の肌石鯿株式会社
cutter knife skating I
2010
Engraved soap
58×58 5cm
Collection of the artist
In Cooperation with: Tamanohada Soap Corporation

cutter knife skating II
2010年
石鯿にエングレーヴィング
58×58×5cm
作家蔵
協力: 玉の肌石鯿株式会社
cutter knife skating II
2010
Engraved soap
58×58×5cm
Collection of the artist
In Cooperation with: Tamanohada Soap Corporation

cutter knife skating III
2010年
石鯿にエングレーヴィング
58×58×5cm
作家蔵
協力: 玉の肌石鯿株式会社
cutter knife skating III
2010
Engraved soap
58×58×5cm
Collection of the artist
In Cooperation with: Tamanohada Soap Corporation

cutter knife skating IV
2010年
石鯿にエングレーヴィング
58×58×5cm
作家蔵
協力: 玉の肌石鯿株式会社
cutter knife skating IV
2010
Engraved soap
58×58×5cm
Collection of the artist
In Cooperation with: Tamanohada Soap Corporation

cutter knife skating V
2010年

石鯨にエングレーヴィング
58×58×5cm
作家蔵
協力: 玉の肌石鯨株式会社
cutter knife skating V
2010
Engraved soap
58×58×5cm
Collection of the artist
In Cooperation with: Tamanohada Soap Corporation

cutter knife skating VI
2010年
石鯨にエングレーヴィング
58×58×5cm
作家蔵
協力: 玉の肌石鯨株式会社
cutter knife skating VI
2010
Engraved soap
58×58×5cm
Collection of the artist
In Cooperation with: Tamanohada Soap Corporation

■野老朝雄 Asao TOKORO

BUILDVOID 習作
2010年
紙
作家蔵
協力: 株式会社イシマル
BUILDVOID study
2010
Paper
Collection of the artist
In Corporation with: ISHIMARU CO., LTD.

■松本尚 Nao MATSUMOTO

Grandma home
2010年
油彩・カンヴァス
291×197cm
作家蔵
Grandma home
2010
Oil on canvas
291×197cm
Collection of the artist
Courtesy: SCAI THE BATHHOUSE

Midnight constellation
2010年
油彩・カンヴァス
291×197cm
作家蔵
Midnight constellation
2010
Oil on canvas

291×197cm
Collection of the artist
Courtesy: SCAI THE BATHHOUSE

Boys mountain
2010年
油彩・カンヴァス
291×197cm
作家蔵

Boys mountain
2010
Oil on canvas
291×197cm
Collection of the artist
Courtesy: SCAI THE BATHHOUSE

■水田寛 Hiroshi MIZUTA

マンション
2010年
油彩・カンヴァス
239.6×622.8cm
作家蔵

Apartment
2010
Oil on canvas
239.6×622.8cm
Collection of the artist
Courtesy: Art Court Gallery

歩道
2010年
油彩・カンヴァス
162×130.5cm
作家蔵

Sidewalk
2010
Oil on canvas
162×130.5cm
Collection of the artist
Courtesy: Art Court Gallery

道路
2010年
油彩・カンヴァス
80.5×100cm
作家蔵

Road
2010
Oil on canvas
80.5×100cm
Collection of the artist
Courtesy: Art Court Gallery

■塩保朋子 Tomoko SHIOYASU

Cutting Insights
2008年
紙

650×356cm
高橋コレクション
Cutting Insights
2008
Paper
650×356 cm
TAKAHASHI COLLECTION
Courtesy: SCAI THE BATHHOUSE

■横内賢太郎 Kentaro YOKOUCHI

Book - AO NAE
2010年
染料、メディウム、サテン
146×456cm (2枚組)
作家蔵
Book - AO NAE
2010
Dye and medium, satin
146 × 456 cm (2 panels)
Collection of the artist
Courtesy: KENJI TAKI GALLERY

Book - AO CAE
2010年
染料、メディウム、サテン
146×131cm
作家蔵
Book - AO CAE
2010
Dye and medium, satin
146×131cm
Collection of the artist
Courtesy: KENJI TAKI GALLERY

Book - AO KAE
2010年
染料、メディウム、シルクサテン
61×73cm
作家蔵
Book - AO KAE
2010
Dye and medium, silk satin
61×73cm
Collection of the artist
Courtesy: KENJI TAKI GALLERY

Book - AO MAE
2010年
染料、メディウム、サテン
131×162.5cm
作家蔵
Book - AO MAE
2010
Dye and medium, satin
131×162.5cm
Collection of the artist
Courtesy: KENJI TAKI GALLERY

(凡例)
作家名 Artist
作品名
制作年
寸法(高さ×幅×奥行)
所蔵者
Title
Date
Size (H×W×D)
Collection

7 「サイバーアーツジャパン—アルスエレクトロニカの30年」展 Cyber Arts Japan Ars Electronica – 30 Years for Art and Media Technology

会期	2010年2月2日(火)～3月22日(月・振休)
会場	企画展示室地下2階、アトリウム
開催日数	延べ43日間
観覧料	一般1,000円、学生・65歳以上 800円、中高生 500円
入場者数	20,831人
一日平均	484人
出品点数	40点
カタログ	刊行予定
ポスター	B全、B3
チラシ	A4正寸

【開催趣旨】

メディアアートの世界的祭典「アルスエレクトロニカ」30周年(オーストリア)にあわせ、文化庁メディア芸術祭と連携して、日本のアート&テクノロジーの特集展・イベントを行った。坂本龍一+岩井俊雄や明和電機ら歴代受賞作品を紹介し、「日本のサイバーアート」として国際的に高く評価される表現力の源を探り、JAXA「きぼう」の宇宙芸術実験やロボティクスを含め、日本らしい新領域を現代美術の文脈から検証展示した。当館で初のメディアアート展

として未開拓層(工学系・メディア芸術)を誘致し、平均入場者数では本年度3位、開館以来の2月開催展の中でも上位の動員を得た。Twitterやセカンドライフ、USTREAMなど発信メディアを当館企画展事業では初導入し、文科省・東京大学との共同研究「呼吸する美術館」プロジェクトを実施し、館外から遠隔の展示支援・意見聴取を試行した。1200万円相当の助成・機材提供を得た。文化庁支援事業、文化庁メディア芸術祭協賛事業として開催された。

【関連事業】

- 「サイバーアーツジャパン展 シンポジウム」
 - 1部：ゲルフリート・シュトッカー氏(アルスエレクトロニカ芸術監督)によるプレゼンテーション
 - 2部：「日本とアルスエレクトロニカの交流について」
坂根巖夫氏(IAMAS名誉教授)によるプレゼンテーションとハンネス・レオポルドゼーダー氏(アルスエレクトロニカ創始者・リンツ芸術工科大学名誉教授)とクリスティーネ・ショップ氏(アルスエレクトロニカ芸術監督・リンツ芸術工科大学名誉教授)の対談。
2月6日(土) 参加者168名
- 「作品デモ」
 - ① 岩田洋夫「Media Vehicle」、「Floating Eye」
 - ② クワクボリョウタ「シ|フ|ン」
 - ③ スズキユウリ「Physical Value of So8」
 会期中 土、日曜日 各日2回 参加者計75名
- ダンスパフォーマンス「飛天 ～散華のとき～」 2回開催
2月27日(土) 参加者185名
- 真鍋大度「Face visualizer, instrument and copy」プレゼンテーション
ゲスト=石橋 素
3月7日(日) 参加人数95名
- 「バカロボへの道」
出演者 明和電機・土佐信道/石黒浩(大阪大学教授)ほか
3月13日(土) 参加者360名
- 第13回文化庁メディア芸術祭短編映像作品上映
3月19日(金)、21日(日)、22日(月・祝) 参加者計530名
- シンポジウム「アルスエレクトロニカ97から未来へ」
出演=東泉一郎(クリエイティブディレクター、デザイナー)
江渡浩一郎(産業技術総合研究所研究員、メディア・アーティスト)
木原民雄(NTTサイバーソリューション研究所主幹研究員)
3月21日(日) 参加者125名
- ダンスパフォーマンス「飛天 ～散華のとき～」
3月22日(月・祝) 参加者155名

【主要関連記事】

- 新聞・テレビ
日本経済新聞の特集、英字新聞 『Japan Times』『Daily Yomiuri』の日本文化紹介欄、NHK『おはよう日本』NHK衛星第2『デジタルスタジアム』NHK『首都圏ネットワーク』などTV報道情報番組での特集多数
- 雑誌
『美術手帖』『デザインの現場』『SWITCH』『BRAIN』『リアルデザイン』『Web Designing』『MEN's FUDGE』『J SELECT』などデザイン系の他、『日経サイエンス』『週刊アスキー』など科学・情報系誌での特集多数

- (9) トーク「アルスエレクトロニカのデジタル・ミュージックを中心に」
 出演＝畠中実(NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]学
 芸員)、有馬純寿(サウンドアーティスト)
 3月22日(月・祝) 参加者数85名
- (10)「Psycho Communicator System」デモ
 出演＝八谷和彦、安藤英由樹(本展出品作家)
 3月21日(日) 参加者数40名

出品リスト

Ars Electronica パナー「TAKE OVER」 企画展示室B2F エントランス	明和電機 ツクバシリーズ A室 明和電機 グッズ Goods 企画展示室B2F A室 monitor NEC	call<->response call<->response アトリウム computer ラップトップ マイクスタンド monitor NEC
h.o+電通 SLOGAN GENERATOR 企画展示室B2F ロビー projector 0.8LCD,4:3,5000lm computer windows XP, デュアルグラフィックカード webカム logicool Qcam_Pro for notebooks monitor プリンター 缶バッジマシン	稲見昌彦 Surrounding of Firefly 企画展示室B2F A室 展示台	岩田洋夫 Floating Eye アトリウム バルーン他
h.o+電通 BUZZ BUBBLES 企画展示室B2F ロビー projector 0.8LCD,4:3,5000lm computer windows XP, デュアルグラフィックカード カタログ	クワクポリョウタ PLX 企画展示室B2F A室 机、椅子	岩田洋夫 Media Vehicle アトリウム 大型カプセル
Ars Electronica Golden Nica (坂根巖夫氏所蔵) 企画展示室B2F ロビー トロフィー	クワクポリョウタ シ/フリン 企画展示室B2F A室 ミラーシート	鈴木康広+DPA 呼吸する空港プロジェクト アトリウム インスタレーション まばたきの葉 ほか
Ars Electronica Awards of Distinction (八谷和彦氏所蔵) 企画展示室B2F ロビー トロフィー	児玉幸子 モルフォタワー 企画展示室B2F A室	鈴木康広+DPA 空気の人 アトリウム バルーン
Ars Electronica Honorary Mentioned (石井陽子氏+穂村弘氏所蔵) 企画展示室B2F ロビー トロフィー	児玉幸子 モルフォタワー(映像) 企画展示室B2F A室 monitor NEC	Ars Electronica CyberArts2008『火よ、さわれるの』パナー アトリウム パナー
Ars Electronica ルードヴィッヒ・ボルツマン研究所によるアルスエレクトロニカ・ グランプリ受賞アーカイブパネル 企画展示室B2F ロビー グラフィックパネル データCS出力、壁面貼り	鈴木有理 Physical value of sound 企画展示室B2F A室	JAXA プロジェクト紹介 JAXA宇宙芸術パイロットミッション (8プロジェクト) アトリウム monitor
[the next idea] [the next idea] 企画展示室B2F ロビー monitor NEC	野口靖+安藤英由樹 Watch Me! 企画展示室B2F A室 projector 0.59LCD,16:10,2100lm スクリーン	河口洋一郎 「Flora」ほかハイビジョン作品立体作品 企画展示室B2F B室 projector HD
八谷和彦 Post Pet 企画展示室B2F A室 projector 0.55DLP,4:3,3000lm 畳 コタツ 棚	真鍋大度 copy my face to my friend 企画展示室B2F A室 computer or DVD player PCはmac, dvdプレイヤールー プ再生 projector 0.55DLP,4:3,3000lm speaker	河口洋一郎 立体作品 企画展示室B2F B室 computer
岩井俊雄 Tenori-on 企画展示室B2F A室 projector 0.55DLP,4:3,3000lm Tenori-on用台	C・ソムラー&L・ミニョノー Life Writer 企画展示室B2F A室 机・椅子 タイプライター	森野和馬ほか 「Runners」ほかCG作品 企画展示室B2F B室 projector 0.7DLP,4:3,6200lm speaker
明和電機 オタマトーン 企画展示室B2F A室 DPF 展示台	平野啓一郎+中西泰人+森野和馬 「ドーン」(3DCGインスタレーション) 企画展示室B2F A室 3Dprojector projector 0.74LCD,16:10,4000lm computer 3D用眼鏡 Webカム speaker	Ars Electronica 定点観測アニメーション「new ars electronica center」 企画展示室B2F B室 DVDプレイヤー computer
	tEnt (田中浩也+久原真人)	Ars Electronica 授賞式記録映像・1997年を中心に 企画展示室B2F B室 DVDプレイヤー
		exonemo GODは存在する 企画展示室B2F B室 computer macmini

monitor
projector 0.7DLP,4:3,6200lm
Webカム

渡邊英徳
メタバース-日本人作家/受賞作家アーカイブ
企画展示室B2F B室
monitor NEC
computer デスクトップ

渡邊淳司+田畑哲+安藤英由樹
Saccade Display
企画展示室B2F エスカレーターロビー
LED

中田裕士
You are in Time
企画展示室B2F トイレ
LED

鈴木康広+DPA
Please Watch Your Step
企画展示室B2F エスカレーター踊場
speaker

MOTコレクション

開催日数	275日
入場者数	130,254人
一日平均	473人

[1] 第1期	<p>MOTコレクション「MOTで見る夢」 特別展示 ヤノベケンジ《ジャイアント・トラヤン》 2009年3月21日(土)～6月28日(日) (特別展示は2009年4月16日～8月2日)</p> <p>会期 出品点数 70点 ポスター B1 リーフレット A6変形 三つ折り6ページ 展示構成 作品に込められたコンセプトを「夢」を捉え、戦前の収蔵品から新収蔵品まで、その魅力を多角的に紹介。 1・3階 「MOTで見る夢」 エントランス 特別展示 ヤノベケンジ《ジャイアント・トラヤン》 ロビー 矢萩喜従郎</p>
[2] 第2期	<p>「夏の遊び場ーしりとり、ままごと、なぞなぞ、ぶらんこ 特別展示：伊藤存+金氏徹平」 2009年7月18日(土)～10月4日(日)</p> <p>会期 出品点数 92点 ポスター B1 リーフレット A6変形 三つ折り6ページ 展示構成 「遊び」の経験をモデルに、アーティストの自由な発想源を探るとともに、作品から「遊び」を連想させる新しい世代の代表として、伊藤存と金氏徹平を紹介。 1.ままごと(1-3室) 2.しりとり(4-7室) 特別展示：伊藤存、金氏徹平 3.なぞなぞ(8-10室) 4.ぶらんこ(11室)</p> <p>関連企画 伊藤存+金氏徹平「10=指、超ただ住まいな子羊勘ぐり寝ずに食む」 ふたりがこの日のために続けてきた、ある「特別なやりとりのリレー」を観客の前で公開したイベント。写真や言葉遊びを紹介するとともに、粘土を使った公開の共同制作も行った。 日時：2009年9月20日(日) 15：00～16：30 会場：B2F 講堂 入場者数：95人</p>
[3] 第3期	<p>クロニクル1945、1951、1957ー戦後日本美術を見直す／「アメリカの絵画」1950s・1960s 特集展示：岡崎乾二郎 (前期) 2009年10月31日(土)～2010年1月24日(日)</p> <p>会期 出品点数 89点／25点／74点 ポスター B1 リーフレット A6変形 三つ折り6ページ チラシ A4変形(表面特色2色、裏面1色) 展示構成 収蔵品を手がかりに戦後の日本美術史の見直しをはかる展示を、今年度から新たにシリーズ化。敗戦直後のリアリズムを中心とした表現(1945)、タケミヤ画廊による「新人」および「実験工房」の紹介(1951)、アンフォルメルにおける受容(1957)に焦点を当てた。3階 1. 1945(9・10室) 2. 1951(11室) 3. 1957(12室)／抽象表現主義とポップアートから始まる「アメリカ絵画史」の形成を当館の代表的な収蔵作品をもとに辿った。1階 1. 1950s(1室) 2. 1960s(7・8室)／絵画、彫刻のみならず、建築、批評などジャンルを超えた多角的な創作で知られる岡崎乾二郎の活動を、新収蔵品と代表作をあわせて包括的に紹介。1階(2-6室)</p>

関連企画	<p>①アーティスト・トーク 岡崎乾二郎 日時：2009年12月19日(土) 15:00～17:00 会場：B2F 講堂 入場者数：200人 内容：作家が制作に影響を与えた美術史上の動向や文化状況について語った。</p> <p>②上映会「回想のヴァイトゲンシュタイン」(1988) 日時：2009年11月14日(土)、12月20日(日)、2010年1月10日(日)各14:00～15:00 会場：B2F 講堂 のべ入場者数：285人 内容：岡崎乾二郎が監督し、これまで限られた機会ではしか公開されてこなかった映画作品の上映を行った。</p>
[4] 第4期	<p>クロニクル1945, 1951, 1957ー戦後日本美術を見直す／「アメリカの絵画」1950s・1960s 特集展示：岡崎乾二郎 (後期) 会期 2010年1月26日(火)～4月11日(日) 出品点数 86点／25点／76点 展示構成 第3期の内容に一部展示替えを行った。「特別展示：岡崎乾二郎」では新作《釉彩陶磁床》を追加出品。</p>
関連企画	<p>MOTコレクション関連シンポジウム「現代美術史をいかに語るかークロニクル／アナクロニクル」 日時：2010年4月10日(土) 13:30～16:30 会場：B2F 講堂 入場者数：200人 内容：「現代美術史」をいかに語り伝えるかということをテーマに、三つの展示を議論の場へと開く機会とした。</p>
主要関連記事	<p>パネリスト：岡崎乾二郎(造形作家、批評家)、林道郎(美術史・美術批評)、光田由里(美術評論)／モデレーター：藤井亜紀(東京都現代美術館学芸員)</p> <p>Andrew Maerkle, <i>Chronicling a collection</i>, THE JAPAN TIMES, Mar. 26, 2010 ART NAVI「MOTコレクション特集展示 岡崎乾二郎@東京都現代美術館」(作家インタビュー)『美術手帖』2010年2月号 大西若人「鬼頭健吾展／特集展示・岡崎乾二郎 増殖 無軌道とコントロール」(展評)朝日新聞夕刊、2010年2月10日 沢山遼「色彩のマテリアリティー MOTコレクション展『特集展示 岡崎乾二郎』」(展評)『美術手帖』2010年3月号 石岡良治「岡崎乾二郎 プロスペクティヴ」(展評)『芸術批評誌 リア』2010年24号</p>
[5] 東京文化発信プロジェクト	<p>井上雄彦 エントランス・スペース・プロジェクト 会期：2009年10月31日(土)～2010年3月28日(日) 会場：エントランス 主催：東京都／東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団) 観覧料：無料 入場者数：116,215人 内容：人気マンガ家である井上雄彦が、代表作「バガボンド」をモチーフに、和紙を貼り込んだ巨大な壁面に筆と墨による新作(高さ7.2m、幅6m)を描き下ろした。</p>

Trans-Cool TOKYO Contemporary Japanese Art from MOT Collection

会期：2010年2月25日(木)～3月28日(日)

会場：タイ・バンコク芸術文化センター Bangkok Art and Culture Centre (BACC)

(939/9 Rama I Rd. Wangmai, Pathumwan, Bangkok 10330)

主催：東京都/ 東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室(財団法人東京都歴史文化財団)

共催：タイ王国文化省/バンコク芸術文化センター

後援：在タイ日本国大使館

入場者数：13,207人

内容：日本の若手作家を中心とした東京都現代美術館の収蔵作品を海外の美術館で紹介する巡回展。

主な出品作家：草間彌生、森村泰昌、村上隆、奈良美智、加藤美佳、八谷和彦、島袋道浩、田中功起、伊藤存、名和晃平、村瀬恭子、荒神明香、足立喜一郎、高木正勝 など

第1期

MOTコレクション「MOTでみる夢」

1 ヤノベケンジ ジャイアント・トラヤン アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール 2005年 720×460×310cm 作家蔵	10 村山悟郎 神の宿る部分 油彩、膠、箸、ボンド、ジェッソ、ホチキス針／編んだ麻紐 2009年 サイズ可変	2007年 90×112cm
2 トビアス・レーベルガー 母型 81% アクリル板、木、合金、塗料、マーカー、ダクトテープ、マジックテープ 2007年 790×557×268cm	11 大竹伸朗 日本景／ぬりどき日本列島 インク／紙 1997年 64点 寄託	19 石川 直樹 「Svalbard / NORWAY #2」 タイプCプリント、フォトアクリル 2007年 90×112cm
3 藤本由紀夫 EAR WITH CHAIR (MOT) アルミニウム、プラスチック、倉俣史朗デザインによる椅子 1990／2007年 130×450×200cm	12 大竹伸朗 日本景 ポスターカラー、グアッシュ、色鉛筆その他 1995-98年 67点 寄託	20 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #1」 タイプCプリント、フォトアクリル 2007年 90×112cm
4 カールステン・ニコライ Telefunken wtc -tokio version 3台のCDプレイヤー、3台のテレビ 2009年 サイズ可変	13 篠原有司男 バンク通り アクリル／カンヴァス 1986-87年 200×660cm	21 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #2」 タイプCプリント、フォトアクリル 2007年 90×112cm 作者寄贈
5 アグネス・マーティン 無題#3 カンヴァスにアクリル、ジェッソ、鉛筆 1984年 182.9×182.9cm	14 大岩 オスカール 虹 油彩／カンヴァス 2003年 227×555cm 寄託	22 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #4」 タイプCプリント、フォトアクリル 2007年 90×112cm 作者寄贈
6 ブライス・マーデン ムーン1 油彩、ワックス／カンヴァス 1977年 213.4×304.7cm	15 オスジェメオス ライフがフォームになるとき ミクストメディア 2008年 300×800cm	23 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #5」 タイプCプリント、フォトアクリル 2007年 90×112cm 作者寄贈
7 フランク・ステラ クオランバ 金属粉、塗料／カンヴァス 1964年 196.8×454cm	16 アレックス・カツツ リンダ 油彩／カンヴァス 1989年 101.6×330.2cm	24 石川直樹 「Iceberg / Svalbard #6」 タイプCプリント、フォトアクリル 2007年 90×112cm 作者寄贈
8 ダン・フレヴィン 無題(タトリンのためのモニュメント) 蛍光管 1967-70年 243.8×80×11.4cm	17 アレックス・カツツ ブルーコート 油彩／カンヴァス 1990年 243.8×121.9cm	25 石川直樹 「Ilulissat / GREENLAND #3」 タイプCプリント、フォトアクリル 2006年 90×112cm 作者寄贈
9 村山悟郎 浸透する ドリフトする 油彩、膠、箸、ボンド、ホチキス針／編んだ麻紐 2009年 270×180×150cm	18 石川直樹 「Svalbard / NORWAY #1」 タイプCプリント、フォトアクリル	26 石川直樹 「Ilulissat / GREENLAND #5」 タイプCプリント、フォトアクリル 2006年 90×112cm

27
石川直樹
「Grave yard / Ilulissat」
タイプCプリント、フォトアクリル
2006年
90×112cm

28
石川直樹
「THE VOID #17」
タイプCプリント、フォトアクリル
2005年
90×112cm

29
石川直樹
「THE VOID #30」
タイプCプリント、フォトアクリル
2005年
90×112cm

30
石川直樹
「NEW DIMENSION #260」
タイプCプリント、フォトアクリル
2007年
90×112cm

31
石川直樹
「NEW DIMENSION #278」
タイプCプリント、フォトアクリル
2007年
90×112cm

32
石川直樹
「Iceberg / Svalbard #3」
タイプCプリント、フォトアクリル
2007年
90×112cm

33
国吉康雄
幸福の島
油彩／カンヴァス
1924年頃
61×76.2cm

34
奥村土牛
蓮池
岩絵具／絹
1929年
134.8×142.8cm

35
川崎小虎
小梨の花
岩絵具／紙
1949年
164.5×115.5cm

36
中村貞以
春
岩絵具／絹
1925年
136×93.6cm

37
吉田博
東京拾二題より 隅田川
木版
1926年
24.8×37.3cm

38
吉田博
東京拾二題より 隅田川 夕
木版
1926年
24.8×37.3cm

39
吉田博
東京拾二題より 隅田川 霧
木版
1926年
24.8×37.3cm

40
吉田博
東京拾二題より 亀井戸
木版
1927年
37.5×24.7cm

41
吉田博
東京拾二題より 堀切の志ようぶ
木版
1928年
37.7×25cm

42
黒田清輝
引汐
油彩／板
1913年頃
14×18cm

43
黒田清輝
上汐
油彩／板
1913年頃
14×18cm

44
黒田清輝
入江
油彩／板
1913年頃
14×18cm

45
高木正勝
Bloomy Girls
DVD(カラー、5分22秒)
2005年

46
高木正勝
EL VIENTO
DVD(カラー、2分20秒)
2006年

47
中ハシ 克シゲ
OTOMI
鉄、銅線、アルミニウム
1990年
225×360×150cm

3F

48
内海聖史
三千世界
油彩／綿布
2006年
各5×5cm 842点

49
サム・フランシス
無題
アクリル／カンヴァス
1985年
5点組
寄託

50
半田真規
Menu
油彩・フェルトペン／タイル、板
2007年
69×99cm

51
半田真規
フラッシュの森
油彩・フェルトペン／タイル、板
2007年
88.5×178.5cm

52
半田真規
雲と基礎 (興ざめパラダイスその3)
油彩・フェルトペン／タイル、板
2007年
78.5×127.5cm

53
大竹伸朗
ゴミ男
バルサ、印刷物、鉄、木、プラスチック、ゴム、フィルム、段ボール、
植物、布、厚紙、紙、マスキングテープ、石膏、アクリル、油彩、水彩、

缶、砂、梱包材、靴下、おもちゃのピストル、ギターネック、グライ
ダーの歯、イミテーションの真珠、カシュー塗料、木炭、消しゴム、
家庭用炭酸ガスボンベ、包装紙、紙テープ、木屑、ロウ、竹、はけ、
オープンリール用録音テープ／木製パネル；テープレコーダー、
マスキングテープ、スピーカー
1987年
4050×4050×20cm

54
ヤノベケンジ
ロッキング・マンモス
鉄、機械部品、他
2005年
370×190×450cm

55
加藤 泉
ムクチ
油彩／カンヴァス
2000-01年
162×130.3cm
寄託

56
大岩オスカル
牛が見た風景
ミクストメディア
2002年
105×88×12cm
作者寄贈

57
大岩オスカル
ネッシー
油彩／カンヴァス
1997年
227×222cm
作者寄贈

58
大岩オスカル

モンキー
油彩／カンヴァス
1999年
227×222cm
寄託

59
マシュー・バーニー
拘束のドローイング9:ミラー・ポジション
タイプCプリント
2005年
83.8×105.4×3.8cm 3点組

60
小林 孝亘
Dream, dreaming us
油彩／カンヴァス
2006-07年
270×540cm
個人蔵

61
奈良美智
サヨン(沙詠)
アクリル／カンヴァス
2006年
146×112.5cm

62
奈良美智
White Night
アクリル／カンヴァス
2006年
162.5×130cm
寄託

63
丸山直文
15Kg
アクリル／綿
1992年

259.5×183cm

64
加藤美佳
カナリア
油彩／カンヴァス
1999年
194×194cm
寄託

65
加藤美佳
Seed
油彩／カンヴァス
2006年
106×120cm

66
名和晃平

PixCell-Deer #17
ミクストメディア
2008-09年
200×170×150cm

67
名和晃平
PixCell-Bambi#4
ミクストメディア
2007年
90×50×50cm
SCAI THE BATHHOUSE蔵

68
名和晃平
Gush#19
アクリル絵具／紙
2008年

92.2×61.5cm

69
名和晃平
Gush#20
アクリル絵具／紙
2008年
97.6×65.9cm

70
田中功起
Pick up something from FRAC Champagne-Ardenne and bring it into the city, then make some noise
DVD、タイプCプリント
2006年
DVD7点、プリント11点

第2期

MOTコレクション「夏の遊び場 -しりとり、ままごと、なぞなぞ、ぶらんこ」

1. ままごと

1
島袋道浩
贈り物: 狼のための展覧会
1992年
チハクロームプリント、テキスト
70×70cm

2
島袋道浩
そしてタコに東京観光を贈ることにした
2000年
ビデオ、ドローイング

3
島袋道浩
同棲(金魚とヒヤシンス)
1992年
チハクロームプリント
70×47.5cm

4
島袋道浩
ティファナ
1992年
タイプCプリント、テキスト
70×103cm

5
島袋道浩
ティファナの写真と一緒に前橋を歩く、ある饅頭屋をさがして
1995年
Hi8をDVDに変換
8分
作家蔵

6
島袋道浩
南半球のクリスマス(神戸)
1994年
タイプCプリント、テキスト
70×103cm

7
島袋道浩
片方の眉毛を剃ってヨーロッパを旅した
1991年
白黒写真(タイプCプリント)、テキスト
70×103cm

8
マン・レイ
ローズ・セラヴィ
1920年頃
モノクロプリント
33.5×27cm

9
トニー・アウスラー
1, 2, 3
1996年
布の人形、スーツケース、プロジェクター、ビデオ、ビデオテープ
31.5×40.6×45.7cm

10
森村泰昌
肖像(少年1、2、3)
1988年

透明メディウム／カラー写真
210×120cm
11
マシュー・バーニー
拘束のドローイング 9: ミラー・ポジション
2005年
タイプCプリント
83.8×105.4×3.8cm 3点組

12
中西夏之
洗濯バサミは攪拌行動を主張する
1963年
カンヴァス、紐、洗濯バサミ
7点組

13
赤瀬川原平
風
1963年
紙、紐、扇風機
67×35×28cm
14
城之内元晴
シェルタープラン
1964年
16mmモノクロフィルム(サイレント、25分)

15
加藤 泉
ムクチ
2000-2001年
油彩／カンヴァス
162×130.3cm
寄託

16
千葉正也
Mountain climbing at "OBON"
2004
油彩／カンヴァス
122×128.5×4.4cm
寄託

17
千葉正也
A friend at the Rocky Mountains 1cm
2004年
油彩／カンヴァス
129.5×200×4cm
寄託

18
桑久保 徹
Winter Sea and Graveyard
2008年
油彩／カンヴァス
181.8×227.3cm
寄託

19
加藤美佳
Seed
2006年
油彩／カンヴァス
106×120cm

20
奈良美智
White Night
2006年
アクリル／カンヴァス
162.5×130cm
寄託

21
小沢 剛
地藏建立 テヘラン、昭和六三年八月二四日
1988年
写真
24.5×24.5cm

22
小沢 剛
地藏建立 伊勢神宮、平成元年四月二日
1989年
写真
24.5×24.5cm

23
小沢 剛
地藏建立 天安門広場、平成元年八月三日
1989年
写真
24.5×24.5cm

25
小沢 剛
地藏建立 板門店、平成四年七月二日
1992年
写真
24.5×24.5cm

26
小沢 剛
地藏建立 聖徳記念絵画館、平成五年四月二九日
1993年
写真
24.5×24.5cm

27
小沢 剛
地藏建立 ラサ(祭り)、1993年8月12日
1993年
写真
48×24cm

28
小沢 剛
地藏建立 チベット(砂漠)、1993年8月22日
1993年
写真
53.3×106.3cm

29
小沢 剛
地藏建立 富士山、1995年8月9日
1995年
写真
48×24cm

31
小沢 剛
地藏建立 土佐、1995年8月21日
1995年
写真

48×24cm

32

デマーカスファン
レースフェンス
2008年
2.5mm GIワイヤー
300×560cm

2. しりとり

33

村上三郎
作品
1956年
木、時計
80×80×80cm

34

田中功起
Pick up something from FRAC Champagne-Ardenne and bring it into the city, then make some noise
2006年
DVD7点、タイプCプリント

35

栗田宏一
ソイル・ライブラリー
2004年
日本国内365ヶ所の土、ガラス瓶
365点

36

伊藤 存
しりとりおきもの
1999年
ラッカーサーフェイサー、油絵具、石粉粘土
15点組
作家蔵

37

伊藤 存
肝つぶし
2009年
布に刺繍、木枠張り
86×63cm
作家蔵

38

伊藤 存
スライドプロジェクト2
2007年
布に刺繍、木枠張り
146×87cm
作家蔵

39

伊藤 存
A VIDA FORA DA MATERIA
2008年
布に刺繍、タペストリー
97×75cm

40

伊藤 存
土のしかけ
2006年
布に刺繍、木枠張り
146×179cm
作家蔵

41

伊藤 存
空地(犬)
2003年
布に刺繍、タペストリー
120×80、95×150cm 2点組

42

伊藤 存
NEW TOWN
2003年
布に刺繍、タペストリー
60×90cm

43

伊藤 存
ワイルドステッカー
2005年
布に刺繍、木枠張り
116×80cm

44

金氏徹平
White Discharge (建物のように積みあげたもの) #4
2009年
プラスチック製品、木材、鉄製品、ゴム製品、樹脂
201×87×87cm

45

金氏徹平
Ghost in the Liquid Room #1
2009年
紙に印刷物の切抜きと反射シートをコラージュ
114.5×104.5cm
作家蔵

46

金氏徹平
Ghost in the Liquid Room #2
2009年
紙に印刷物の切抜きと反射シートをコラージュ
72.1×103cm
作家蔵

47

金氏徹平
Ghost in the Liquid Room #3
2009年
紙に印刷物の切抜きと反射シートをコラージュ
158.3×110.8cm
作家蔵

48

金氏徹平
White Discharge (figure/Werstler)
2009年
プラスチックフィギュア、ジェッソ、木
29点
作家蔵

49

金氏徹平
White Discharge (outline)
2003年
塗り絵本、白地図の切抜き
38×40cm
作家蔵

50

金氏徹平
White Discharge (じゃがいも)
2007年
プラスチック製品等、樹脂
28×23×25cm
作家蔵

51

金氏徹平
White Discharge (ビニールテープ)
2007年
プラスチック製品、樹脂
8×19×9cm
作家蔵

52

金氏徹平
White Discharge (包丁)
2007年
プラスチックフィギュア、顔料、樹脂
4点組
作家蔵

53

金氏徹平
White Discharge (コンセント)
2007年
プラスチック製品等、樹脂
10×13×15cm
作家蔵

54

金氏徹平
White Heart
1997-2009年
タイプCプリント
作家寄贈

3. なぞなぞ

55

木村友紀
YOU MAY ATTEND A PARTY WHERE STRANGE

CUSTOMS PREVAIL

2006年
写真、他
17点組

56

高松次郎
屏の影
1968年
木、ラッカー
10×380×180cm

57

ナム=ジュン・バイク
現実の花 生きている花
1982年
テレビのボディ、ビデオカメラ、4インチテレビ

58

ナム=ジュン・バイク
現実の魚 生きている魚
1982年
テレビのボディ、水槽、テレビ、ビデオカメラ

59

上田 薫
なま玉子 B
1976年
油彩、アクリル／カンヴァス
227×182cm

60

上田 薫
スプーンのジャム
1974年
油彩、アクリル／カンヴァス
130×162cm

61

上田 薫
コップの水
1974年
油彩、アクリル／カンヴァス
162×130cm

62

デイヴィッド・ホックニー
ポップ・ホルマンに話しかけるクリストファ・イシャウッド、1983年3月
14日、サンタ・モニカ
1983年
写真
112.4×165.8cm

63

デイヴィッド・ホックニー
竜安寺の石庭を歩く 1983年2月21日、京都
1983年
写真
101.6×160.7cm

64

エドワード・ルツシエ
ウエスタン
1969年
油彩／カンヴァス
152.4×137.6cm

65

トニー・クラッグ
東京-ウッパターール
1982年
電話機、プラスチック等
162×100×30cm

66

ゲルハルト・リヒター
エリザベート
1965年
油彩、カンヴァス
198×145cm

67

ロバート・ラウシェンバーク
オーヴァーキャスト I
1962年
油彩、シルクスクリーン／カンヴァス
246.4×182.8cm

68

杉本博司
Polar Bear
1976年
写真(ゼラチンシルバープリント)

43×54cm
69
杉本博司
Hyena-Jackel-Vulture
1976年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
70
杉本博司
Manatee
1994年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
71
杉本博司
Akron Civic, Ohio
1980年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
72
杉本博司
Goshen, Indiana
1980年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
73
杉本博司
Metropolitan Orpheum, L.A.
1993年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
74
杉本博司
Ligurian Sea, Savio
1993年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
75
杉本博司
Tyrrhenian Sea, Scilla
1993年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
76
杉本博司
Cercic Sea, St. Agnes
1994年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
77
杉本博司
English Channel, Weston Cliff

1994年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
78
杉本博司
Lake Superior, Cascade River
1995年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
79
杉本博司
South Pacific Ocean, Waihu
1990年
写真(ゼラチンシルバークラウド)
43×54cm
80
大竹伸朗
網膜(虫の記憶)
1990年
写真、ビニールシート、布テープ、プラスチック樹脂、紙／木製パネル
300.2×230.5×10.5cm
寄託
81
大竹伸朗
網膜(クレバス)
1990年
写真、布テープ、プラスチック樹脂／木製パネル
300×230×10.5cm
寄託
4. ぶらんこ
82
八谷和彦
《Over the Rainbow》記録映像
1994年
作家蔵
83
岡崎京子
《Over the Rainbow》フライヤーのためのイラストレーション
1994年
フェルトペン／紙
八谷和彦氏蔵
84
八谷和彦
エアボード
2001年
ターボジェットエンジン、燃料、アルミ、ステンレス、ケブラー(不燃料)、他
300×60×30cm

85
八谷和彦
エアボードβ
1999年
ターボジェットエンジン、燃料、アルミ、ステンレス、カーボン、カスタムペイント(倉科昌高／バンザイペイント)、他
220×50×30cm
寄託
86
八谷和彦
Fairy Finder 02 - 空を見るための望遠鏡
2005年
液晶モニタ、DVD、紙管、偏光フィルターなど
サイズ可変
作家蔵
87
八谷和彦
《Open Sky》金沢市民芸術村における《M-02》テストフライト
(金沢21世紀美術館「金沢アートプラットフォーム2008」にて実施)
2008年
作家蔵
88
八谷和彦
M-01-1/5模型
2003年
設計・製作:有限会社オンボス 四戸哲 パルサ、スプーンスなど
29.3×194×52.5cm、スキッド含む
作家蔵
89
八谷和彦
テストフライト・ライトボックス
2006/2008年
フィルム、ライトボックス
5点組
作家蔵
90
エルネスト・ネト
Flower 2
2008年
布、スタイロフォーム、ビーズ、ジンジャー、クローブ
サイズ可変
91
藤本由紀夫
EAR WITH CHAIR (MOT)
1990/2007年
アルミニウム、プラスチック、倉俣史朗デザインによる椅子
130×450×200cm
92
ヤノベ ケンジ
ロッキング・マンモス
2005年
鉄、機械部品、他
370×190×450cm

クロニクル 1945, 1951, 1957—戦後日本美術を見直す

1945
1
寺田政明
夜
1940年
油彩／カンヴァス
162.4×130.2cm
寺田政子氏寄贈
2
巖 光
静物(雉)
1941年
油彩／カンヴァス
198×101cm
3
北川民次
農漁の図
1943年
油彩／紙・板
145×112cm
4
山本日子士良
大漁
1944年
油彩／カンヴァス

202.5×248cm
東京メソニック協会寄贈
5
橋本八百二
ニューギニア作戦
1944年
油彩／カンヴァス
寄託
6
津田信夫
戦意充盈
1944年
金工
h.21cm
7
杉全 直
潤れた泉(老婆・岩・老爺)
1946年
油彩／カンヴァス
100.0×80.5cm(左右)、97.0×130.0cm(中央)
8
糸圖和三部
老夫
1946年
油彩／カンヴァス

80×53.5cm
9
岡本太郎
憂愁
1947年
油彩／カンヴァス
100×65cm
財団法人草月会寄託
10
久保 守
戦後の風景
1947年
油彩／カンヴァス
72.8×91cm
11
中原 實
杉の子
1947年
油彩／カンヴァス
167×135cm
寄託
12
中原 實
兜の昇天
1948年

油彩／カンヴァス
96.5×162cm
寄託

13
麻生三郎
母子
1948年
油彩／カンヴァス
91×60.5cm

14
井上長三郎
東京裁判
1948年
油彩／カンヴァス
129×159cm
寄託

15
鶴岡政男
重い手
1949年
油彩／カンヴァス
130×97cm

16
香月泰男
昼
1949年
油彩／カンヴァス
73×117cm

1951 (第3期)

17
加藤太郎
JEU D'OBJET 銃
1945年
木版
14.5×13.2cm

18
加藤太郎
JEU D'OBJET 火屋
1945年
木版
11.5×11.6cm

19
加藤太郎
JEU D'OBJET 欲望
1945年
木版
11.5×11.8cm

20
加藤太郎
JEU D'OBJET 翅
1945年
木版
14.6×13.2cm

21
加藤太郎
JEU D'OBJET 貝
1945年
木版
11.8×11.5cm

22
山野 卓(卓造)
幽閉
1950年
紙本着色
162×132cm
作家寄贈

23
阿部展也
神話 A
1951年
油彩／カンヴァス
91×116.5cm

24
朝妻治郎
逆光の少年像
1951年
油彩／合板
53.2×40.8cm
朝妻まさ子氏寄贈

25
桂 ゆき
抵抗
1952年
油彩／カンヴァス
130×162cm

26
川端 実
鏡
1952年
油彩／カンヴァス
130.5×160cm

27
藤松 博
花火と娘
1953年
油彩／カンヴァス
65.1×90.9cm

28
藤松 博
花火
1953年
油彩／カンヴァス
100.5×73cm

29
末松正樹
小品C
1953年
油彩／カンヴァス
51×64cm

30
池田龍雄
10000カウント
1954年
インク／紙
27.8×37.3cm

31
斎藤義重
母と子
1955年
油彩／合板、厚紙
100.2×80.2cm

32
池田満寿夫
廃墟の街
1955年
油彩／カンヴァス
70×111.5cm
作家寄贈

33
中村 宏
砂川五番
1955年
油彩／合板
92.5×183cm

34
利根山光人
いけにえ(ダムシリーズ)
1956年
油彩／カンヴァス
112.1×145.5cm

35
吉仲太造
地球人
1956年
油彩／カンヴァス
182×228cm

36
漆原英子
Eidolon
1956年
油彩／カンヴァス
73×90.9cm

37
駒井哲郎
花になった閃光現象
1949年
エッチング、アクアチント、ドライポイント
12.5×15.7cm

38
大辻清司

足について
1949年
ゼラチンシルバープリント
39×27.5cm
千葉市美術館蔵

39
駒井哲郎
ラジオ アクティヴィティ イン マイ ルーム
1950年
メゾチント、ドライポイント、エングレーヴィング
9.8×8.3cm

40
大辻清司
金属のオブジェ
1950年
ゼラチンシルバープリント
32.5×27.5cm
千葉市美術館蔵

41
山口勝弘
宇宙の運行
1950年
油彩、カンヴァス
31.8×41cm
千葉市美術館蔵

42
北代省三
回転する面による構成
1951年
油彩／カンヴァス
27.3×22.2cm
作家寄贈

43
駒井哲郎
東の間の幻影
1951年
アクアチント(サンドペーパー使用)、エッチング、ドライポイント
18×29cm

44
山口勝弘
無題
1951年
油彩、カンヴァス
50.5×65.5cm
千葉市美術館蔵

45
駒井哲郎
フューグ・ソムナンビュール
1952年
エングレーヴィング(雁皮刷／単色)
26×20.5cm

46
駒井哲郎
フューグ・ソムナンビュール
1952年
エングレーヴィング、ドライポイント(雁皮刷／単色)
24.5×15cm

47
山口勝弘
ヴィトリヌ No.6
1952年
ガラス、油彩、板、紙
55.3×64.5×9.7cm
千葉市美術館蔵

48
北代省三
受胎告知
1952年(1989年再制作)
油彩／カルトン、パネル
51.6×36.6cm
北代芳江・誠氏寄贈

49
北代省三
楽園喪失(回転する面による構成)
c.1952-1953年
油彩／合板、厚紙
72.3×60.6cm

50
北代省三
回転する面による構成
c.1952年

油彩／厚紙
72.3×60.6cm
作家寄贈

51
駒井哲郎
街 吹雪
1953年
アクアチント
13.5×15.5cm

52
駒井哲郎
夕べの街
1953年
アクアチント
11.9×8cm

53
北代省三(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年1月1／7合併号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
28.4×22.6cm
千葉市美術館蔵

54
北代省三(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年2月4号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
22.7×28.6cm
千葉市美術館蔵

55
山口勝弘(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年2月11号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
29.7×24.7cm
千葉市美術館蔵

56
北代省三(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年3月4号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
28.5×20.9cm
千葉市美術館蔵

57
山口勝弘(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年3月18号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
19.2×29.8cm
千葉市美術館蔵

58
北代省三(構成・撮影)
『アサヒグラフィ』1953年4月8号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
23.7×22cm
千葉市美術館蔵

59
斎藤義重(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年4月15号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
20.1×20.2cm
千葉市美術館蔵

60
山口勝弘(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年5月13号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
29.8×24.7cm
千葉市美術館蔵

61
山口勝弘(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年7月22号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年

ゼラチンシルバープリント
29.8×24.7cm
千葉市美術館蔵

62
山口勝弘(構成)、大辻清司(撮影)
『アサヒグラフィ』1953年9月2号「APN」のためのカット(別バージョン)
1953年
ゼラチンシルバープリント
29.8×24.6cm
千葉市美術館蔵

63
福島秀子(構成)、福島和夫(音楽)
水泡は削られる
1953年
オートスライド(DVD)
個人蔵

64
山口勝弘(構成)、鈴木博義(音楽)
試験飛行家W・S氏の眼の冒険
1953年
オートスライド(DVD)
個人蔵

65
北代省三
エジプトの日蝕
1953年(1993年再制作)
ゼラチンシルバープリント(写真版画)
30.5×26cm
千葉市美術館蔵

66
北代省三
夜の祭り
1953年(1993年再制作)
ゼラチンシルバープリント(写真版画)
30.5×26cm
千葉市美術館蔵

67
北代省三
スペース・プラント
1953年(1993年再制作)
ゼラチンシルバープリント(写真版画)
30.5×26cm
千葉市美術館蔵

68
北代省三
メタル・フィッシュ(モビール・オブジェ)
1953年(1988年再制作)
鉄、塗装ラッカー
67×直径124cm
千葉市美術館蔵

69
山口勝弘
ヴィトリヌ 夜の進行
1954年
紙、水彩、モールガラス、油彩／合板
65.5×56.5×9cm

70
山口勝弘
ヴィトリヌ 空虚な眼
1954年
紙、水彩、モールガラス、油彩／合板
65.5×56.5×9cm

71
大辻清司
氷紋II
1956年
ゼラチンシルバープリント
32.5×24.5cm
千葉市美術館蔵

72
大辻清司
氷紋III(赤城山・大沼)
1956年
ゼラチンシルバープリント
32.5×24.5cm
千葉市美術館蔵

73
福島秀子
共鳴箱
1956年
グワッシュ／紙

68.5×53.5cm
千葉市美術館蔵

74
福島秀子
花(ダクダク)
1956年
グワッシュ／紙
67.5×53.5cm
千葉市美術館蔵

75
山口勝弘
ヴィトリヌ 道
1956年
ガラス、合成樹脂絵具、板、紙
65.3×35.2×8.6cm
千葉市美術館蔵

76
北代省三
触る日の軌跡
1956-57年(1988-90年再制作)
真鍮、ジュラルミン
222.2×直径320cm
千葉市美術館蔵

77
福島秀子
ヒト
1957年
グワッシュ／紙
68.5×53.5cm
千葉市美術館蔵

78
福島秀子
ヒト
1957年
グワッシュ／紙
67.5×54cm
千葉市美術館蔵

79
福島秀子
作品5
1959年
油彩／カンヴァス
182.4×259.3cm
千葉市美術館蔵

80
福島秀子
作品9
1960年
油彩／カンヴァス
146×97cm
千葉市美術館蔵

81
大辻清司
eyewitness
2008年
ゼラチン・シルヴァー・プリント、57点組ポートフォリオ、ed. 17

82
実験工房関係資料
個人蔵

1951 (第4期)

17
加藤太郎
JEU D'OBJET カットグラス
1945年
木版
11.8×11.4cm

18
加藤太郎
JEU D'OBJET 鍵
1945年
木版
11.7×11.5cm

19
加藤太郎
JEU D'OBJET ねじ
1945年
木版
11.8×11.5cm

20 加藤太郎 JEU D'OBJET 玩具 1945年 木版 11.7×11.4cm	33 中村 宏 砂川五番 1955年 油彩／合板 92.5×183cm	31.8×41cm 千葉市美術館蔵
21 加藤太郎 くさび c.1945年 木版 12.1×12cm	34 利根山光人 いけにえ(ダムシリーズ) 1956年 油彩／カンヴァス 112.1×145.5cm	46 北代省三 回転する面による構成 1951年 油彩／カンヴァス 27.3×22.2cm 作家寄贈
22 山野 卓(卓造) 幽閉 1950年 紙本着色 162×132cm 作家寄贈	35 吉仲太造 地球人 1956年 油彩／カンヴァス 182×228cm	47 山口勝弘 無題 1951年 油彩、カンヴァス 50.5×65.5cm 千葉市美術館蔵
23 阿部展也 神話 A 1951年 油彩／カンヴァス 91×116.5cm	36 漆原英子 Eidolon 1956年 油彩／カンヴァス 73×90.9cm	48 山口勝弘 ヴイトリーヌ No.6 1952年 ガラス、油彩、板、紙 55.3×64.5×9.7cm 千葉市美術館蔵
24 朝妻治郎 逆光の少年像 1951年 油彩／合板 53.2×40.8cm 朝妻まさ子氏寄贈	37 駒井哲郎 夢(Un Rêve) 1949年 メゾチント 12×15.5cm	49 北代省三 受胎告知 1952年(1989年再制作) 油彩／カルトン、パネル 51.6×36.6cm 北代芳江・誠氏寄贈
25 桂 ゆき 抵抗 1952年 油彩／カンヴァス 130×162cm	38 駒井哲郎 夢の推移 1950年 メゾチント 12.5×15.5cm	50 北代省三 楽園喪失(回転する面による構成) c.1952-1953年 油彩／合板、厚紙 72.3×60.6cm
26 川端 実 鏡 1952年 油彩／カンヴァス 130.5×160cm	39 駒井哲郎 消えかかると夢 1951年 アクアチント、メゾチント 12.5×15.3cm	51 北代 省三 回転する面による構成 c.1952年 油彩／厚紙 72.3×60.6cm 作家寄贈
27 藤松 博 花火と娘 1953年 油彩／カンヴァス 65.1×90.9cm	40 駒井哲郎 夢の終り 1951年 エングレーヴィング、メゾチント、ルーレット(雁皮刷) 12.5×15.5cm	52 北代省三(構成・撮影) 『アサヒグラフ』1953年6月24日号「APN」のためのカット(別バージョン) 1953年 ゼラチンシルバープリント 28.4×22.6cm 千葉市美術館蔵
28 藤松 博 花火 1953年 油彩／カンヴァス 100.5×73cm	41 大辻清司 陳列窓I 1956年 ゼラチンシルバープリント 32.5×24.5cm 千葉市美術館蔵	53 勅使河原蒼風(構成)、大辻清司(撮影) 『アサヒグラフ』1953年9月16日号「APN」のためのカット(別バージョン) 1953年 ゼラチンシルバープリント 25.4×17cm 千葉市美術館蔵
29 末松正樹 小品C 1953年 油彩／カンヴァス 51×64cm	42 大辻清司 陳列窓III 1956年 ゼラチンシルバープリント 32.5×24.5cm 千葉市美術館蔵	54 山口勝弘(構成)、大辻清司(撮影) 『アサヒグラフ』1953年10月7日号「APN」のためのカット(別バージョン) 1953年 ゼラチンシルバープリント 29.8×20.4cm 千葉市美術館蔵
30 池田龍雄 休息 1955年 インク／紙 37.7×29cm	43 大辻清司 モダンアーティストの肖像 1950年 ゼラチンシルバープリント 39.4×28.1cm 千葉市美術館蔵	55 北代省三(構成)、大辻清司(撮影) 『アサヒグラフ』1953年10月14日号「APN」のためのカット(別バージョン) 1953年 ゼラチンシルバープリント 28.3×21.7cm 千葉市美術館蔵
31 斎藤義重 母と子 1955年 油彩／合板、厚紙 100.2×80.2cm	44 大辻清司 アトリエの幻想 1950年 ゼラチンシルバープリント 39.4×28.1cm 千葉市美術館蔵	56 勅使河原蒼風(構成)、大辻清司(撮影) 『アサヒグラフ』1953年10月21日号「APN」のためのカット(別バージョン) 1953年 ゼラチンシルバープリント 25.5×17cm
32 池田満寿夫 廃墟の街 1955年 油彩／カンヴァス 70×111.5cm 作家寄贈	45 山口勝弘 宇宙の運行 1950年 油彩、カンヴァス	

千葉市美術館蔵	30.5×26cm	77
57	千葉市美術館蔵	福島秀子
北代省三(構成)、大辻清司(撮影)	67	作品5
『アサヒグラフ』1953年11月18日号「APN」のためのカット(別バージョン)	北代省三	1959年
1953年	メタル・フィッシュ(モビール・オブジェ)	油彩／カンヴァス
ゼラチンシルバープリント	1953年(1988年再制作)	182.4×259.3cm
28.3×21.7cm	鉄、塗装ラッカー	千葉市美術館蔵
千葉市美術館蔵	67×直径124cm	78
58	千葉市美術館蔵	福島秀子
勅使河原蒼風(構成)、大辻清司(撮影)	68	作品
『アサヒグラフ』1953年11月25日号「APN」のためのカット(別バージョン)	山口勝弘	1958年
1953年	ヴィトリーム 夜の進行	油彩／カンヴァス
ゼラチンシルバープリント	1954年	162.2×112.3cm
25.4×17cm	紙、水彩、モールガラス、油彩／合板	79
千葉市美術館蔵	65.5×56.5×9cm	大辻清司
59	69	eyewitness
山口勝弘(構成)、大辻清司(撮影)	山口勝弘	2008年
『アサヒグラフ』1953年12月16日号「APN」のためのカット(別バージョン)	ヴィトリーム 空虚な眼	ゼラチン・シルヴァー・プリント、57点組ポートフォリオ、ed. 17
1953年	1954年	80
ゼラチンシルバープリント	紙、水彩、モールガラス、油彩／合板	実験工房関係資料
29.8×22.8cm	65.5×56.5×9cm	個人蔵
千葉市美術館蔵	70	
60	福島秀子	1957年
北代省三(構成・撮影)	紅い風の反応	83
『アサヒグラフ』1953年12月23日号「APN」のためのカット(別バージョン)	1955年	勅使河原蒼風
1953年	グワッシュ／紙	樹猷
ゼラチンシルバープリント	56.5×75.3cm	1957年
28.5×22.3cm	千葉市美術館蔵	木、真鍮
千葉市美術館蔵	71	120×250×130cm
61	福島秀子	財団法人草月会寄託
山口勝弘(構成)、大辻清司(撮影)	外来者	84
『アサヒグラフ』1954年1月27日号「APN」のためのカット(別バージョン)	1956年	ジョルジュ・マチウ
1953年	グワッシュ／紙	無題
ゼラチンシルバープリント	68×53.5cm	1957年
29.8×23.2cm	千葉市美術館蔵	油彩／カンヴァス
千葉市美術館蔵	72	132×162.5cm
62	福島秀子	財団法人草月会寄託
福島秀子(構成)、福島和夫(音楽)	衝きささるもの横切るもの	85
水泡は削られる	1956年	今井俊満
1953年	グワッシュ／紙	東方の光
オートスライド(DVD)	67.5×54cm	1957年
個人蔵	千葉市美術館蔵	油彩／カンヴァス
63	73	183×600cm
山口勝弘(構成)、鈴木博義(音楽)	山口勝弘	財団法人草月会寄託
試験飛行家W・S氏の眼の冒険	ヴィトリーム 道	86
1953年	1956年	堂本尚郎
オートスライド(DVD)	ガラス、合成樹脂絵具、板、紙	Turbulence
個人蔵	65.3×35.2×8.6cm	1958年
64	千葉市美術館蔵	油彩／カンヴァス
北代省三	74	129×195cm
孤独な旅人	北代省三	87
1953年(1993年再制作)	触る日の軌跡	吉原治良
写真版画(ゼラチンシルバープリント)	1956-57年(1988-90年再制作)	作品
30.5×26cm	真鍮、ジュラルミン	1962年
千葉市美術館蔵	222.2×直径320cm	油彩／カンヴァス
65	千葉市美術館蔵	182×272cm
北代省三	75	88
睡眠の構造	福島秀子	田中敦子
1953年(1993年再制作)	ヒト	作品(たか)
写真版画(ゼラチンシルバープリント)	1957年	1963年
30.5×26cm	グワッシュ／紙	ビニール塗料／カンヴァス
千葉市美術館蔵	68.5×53.5cm	194×131.5cm
66	千葉市美術館蔵	89
北代省三	76	白髪一雄
深海の風景	福島秀子	無題(赤蟻王)
1953年(1993年再制作)	ヒト	1964年
写真版画(ゼラチンシルバープリント)	1957年	油彩／カンヴァス
	グワッシュ／紙	194×131cm
	67.5×54cm	ジョン・D.ロックフェラー三世夫人寄贈
	千葉市美術館蔵	

第3期・4期

「アメリカの絵画」1950s・1960s

1950s	油彩／カンヴァス 152.4×345.5cm	17 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm
1 マーク・ロスコ 赤の中の黒 1958年 油彩／カンヴァス 176.5×233.7cm	9 トム・ウェツセルマン 浴槽コラージュ #2 1963年 油彩、コラージュ、オブジェ／板 122×185.5×16.5cm	18 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm
2 ウィレム・デ・クーニング 無題(女) 1966-1967年 油彩／紙、カンヴァス 190.5×109.2cm	10 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm	19 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm
3 ケネス・ノーランド ヴァージニア・サイト 1959年 アクリル／カンヴァス 178×178cm	11 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm	20 デイヴィッド・ホックニー 凝った銀の額に入った静物画『ハリウッド・コレクション』 1965年 リトグラフ 76.8×56.5cm
4 モーリス・ルイス 金色と緑色 1958年 アクリル／カンヴァス 237.5×352cm	12 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm	21 デイヴィッド・ホックニー 凝った金の額に入った風景画『ハリウッド・コレクション』 1965年 リトグラフ 76.8×56.5cm
1960s	13 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm	22 デイヴィッド・ホックニー 銀の額に入った肖像画『ハリウッド・コレクション』 1965年 リトグラフ 76.8×56.5cm
5 ロイ・リキテンスタイン ヘア・リボンの少女 1965年 油彩、マグナ／カンヴァス 121.9×121.9cm	14 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm	23 デイヴィッド・ホックニー 飾りのある金の額に入ったメルローズ通りの風景画『ハリウッド・コレクション』 1965年 リトグラフ 76.8×56.5cm
6 アンディ・ウォーホル 6枚組の自画像 1966年 アクリル、シルクスクリーン・インク、鉛筆／カンヴァス 169×112cm	15 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm	24 デイヴィッド・ホックニー 簡素な額に入った伝統的な裸婦素描『ハリウッド・コレクション』 1965年 リトグラフ 76.8×56.5cm
7 ロバート・ラウシェンバーグ オーヴァーキャスト I 1962年 油彩、シルクスクリーン／カンヴァス 246.4×182.8cm	16 アンディ・ウォーホル マリリン・モンロー 1967年 シルクスクリーン／紙 91.5×91.5cm	
8 ジェームス・ローゼンクワイスト バンダイエニのために 1968年		

特集展示 岡崎乾二郎

1 岡崎乾二郎 3時12分 1983年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、紙、他 27×17×17cm	4 岡崎乾二郎 あかさかみつけ #22 1989-2009年 アクリル、顔料、 ポリプロピレン、 ポリエチレン 27.5×25×17.5cm 作家蔵	27.5×25×17.5cm 作家蔵
2 岡崎乾二郎 あかさかみつけ #24 1989-2009年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、 ポリエチレン 27.5×25×17.5cm 作家蔵	5 岡崎乾二郎 あかさかみつけ #25 1989-2009年 アクリル、顔料、 ポリプロピレン、 ポリエチレン 27.5×25×17.5cm 作家蔵	7 岡崎乾二郎 あかさかみつけ #19 1987-2009年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25×17.5cm 個人蔵
3 岡崎乾二郎 あかさかみつけ #18 1987年 アクリル、顔料、 ポリプロピレン、 ポリエチレン 27.5×25×17.5cm 作家蔵	6 岡崎乾二郎 あかさかみつけ #21 2009年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン	8 岡崎乾二郎 あかさかみつけ #28 2009年 アクリル、顔料、ポリプロピレン、ポリエチレン 27.5×25×17.5cm 作家蔵
		9 岡崎乾二郎 山の向こうの中腹のちっぽけな村はすでに見えなくなり、ふたたび春が巡ってきた。葡萄の木はあたかも塀の笠石の下を匍う病める大蛇のように見える。生あたたかい空気のなかを褐色の光が動きまわっていた。似たりよつたりの毎日が作りだす空白は残り残した若木まで切り倒すだろう。日々の暮らしのなかで樹木の茂み

は岩のように突き出ている。

2002年
アクリル／カンヴァス
180×130×5cm
No.10と2枚組

10
岡崎乾二郎
自分の暮らした村がこんなに小さく思われたことはない。太陽が姿をみせた。背の高いポプラの林は風に吹き動かされる砂浜のような格好をしている。切れ目のないその連続を見ているだけで眼がくらんでくる。変り映えしない日々の連続に酔うことができたなら象や蛇をしとめた気にもなれる。蝶が舞うようにそんな風に彼はものを識ったのである。

2002年
アクリル／カンヴァス
180×130×5cm

11
岡崎乾二郎
淡水水産物つまりおサカナ、といつても人の放流したアユやニジマスを獲って暮らしている。水面から水の裏を見透す(背後に食客三千)。水を飲み、水を食べる暮らしと違わない(水は凍って大きく膨らむ)、だからサカナたちから税を奪う。

2008年
アクリル／カンヴァス
91×72.7×5.8cm
No.12と2枚組
作家蔵

12
岡崎乾二郎
おサカナたちは成長してゆくご自分の姿などにはお気づきにならない、だからこそは思う壺。誘いの水が氷なのだから(地理には明るい)、海の下だろうと雪の中だろうと違わない(魂は舞いはじめ先へ急ぐ)、もう目覚めることもないだろう。

2008年
アクリル／カンヴァス
91×72.7×5.8cm
作家蔵

13
岡崎乾二郎
をち方のふる川きし、こち方のふる川きし(みづはかみ)

2009年
油彩／カンヴァス
14×20.2×2.9cm
ガレリア フィナルテ蔵

14
岡崎乾二郎
三千発の借り(拳闘選手)

2005年
油彩／カンヴァス
23×17×4.5cm
個人蔵

15
岡崎乾二郎
瓢ひとつ葉刀ひとつ(虚仮ら落とし)

2009年
油彩／カンヴァス
14×20.5×2.9cm
作家蔵

16
岡崎乾二郎
野外にて彼に出くわす(荷車の上の法的秩序)

2007年
油彩／カンヴァス
16×23×3.5cm
作家蔵

17
岡崎乾二郎
ソノオリの蓬(ムラタチの糸杉)

2009年
油彩／カンヴァス
14×20.5×2.9cm
作家蔵

18
岡崎乾二郎
眼に痛みをもたらすもの(動物たち)

2007年
油彩／カンヴァス
18×14×3.5cm
作家蔵

19
岡崎乾二郎
打撃を受けた空気(正しい音程)

2005年
油彩／カンヴァス
16×23×3.3cm
ゆーじん画蔵

20
岡崎乾二郎
人の寝顔の不完全(鳥の寝顔の整理整頓)

2007年
油彩／カンヴァス
17×23×2.9cm
個人蔵

21
岡崎乾二郎
鼻は尖り眉もひきつり、びりびりと額の皺も(信憑性)

2007年
油彩／カンヴァス
18×15.5×2.9cm
作家蔵

22
岡崎乾二郎
畑泥棒の土埃(空威張り)

2006年
油彩／カンヴァス
23×16×3cm
個人蔵

23
岡崎乾二郎
五位入道(松風の音、浪の音)

2009年
油彩／カンヴァス
24.5×16×2.9cm
作家蔵

24
岡崎乾二郎
水掛け論(蜻蛉の翅、とんびの嘴)

2009年
油彩／カンヴァス
16×25×2.9cm
個人蔵

25
岡崎乾二郎
ある、あらぬ(牡山羊鹿)

2008年
油彩／カンヴァス
24×16×2.9cm
吉崎コレクション

26
岡崎乾二郎
アポロンの頭(ダフネの腕)

2007年
油彩／カンヴァス
17×23×2.9cm
個人蔵

27
岡崎乾二郎
葦と蒲と柳(コロカララと戦ぐ)

2009年
油彩／カンヴァス
23×17×2.9cm
個人蔵

28
岡崎乾二郎
ハットンの主張(傾斜不整合)

2008年
油彩／カンヴァス
16×25×2.9cm
個人蔵

29
岡崎乾二郎
使徒の働き(さあ、この人です)

2008年
油彩／カンヴァス
17×23×2.9cm
個人蔵

30
岡崎乾二郎
猿、やしの実を投げる(私はハッカとトリカエル)

2007年
油彩／カンヴァス
23×16×3.5cm

個人蔵

31
岡崎乾二郎
眉をひそめる間柄(ヨソヨソシイ耳許)

2009年
油彩／カンヴァス
18.5×17×2.9cm
作家蔵

32
岡崎乾二郎
喜びはなぜ私の顔を赤くするのか(恥ずかしがる事ではない)

2007年
油彩／カンヴァス
23×16×3.5cm
作家蔵

33
岡崎乾二郎
パンの凹み(スープを飲む)

2005年
油彩／カンヴァス
16.5×23×2.9cm
斉藤 徹氏蔵

34
岡崎乾二郎
百二十年目の胸騒ぎ(なぜ竹はかくも長く開花しないのか)

2008年
油彩／カンヴァス
17×22.8×2.9cm
個人蔵

35
岡崎乾二郎
生活の為来たり(コッコとついばむ)

2007年
油彩／カンヴァス
19×14×2.9cm
島田恒平氏蔵

36
岡崎乾二郎
カンマのことぶれ(海石榴)

2009年
油彩／カンヴァス
16×18×2.9cm
個人蔵

37
岡崎乾二郎
動物のためだけのものでない(木製の檻)

2005年
油彩／カンヴァス
16×23×3.2cm
斉藤 徹氏蔵

38
岡崎乾二郎
足したり引いたり(ダイモンの領域)

2007年
油彩／カンヴァス
18.2×15×2.9cm
林 道郎氏蔵

39
岡崎乾二郎
花に語らせる(過去も未来もない)

2007年
油彩／カンヴァス
17×23×2.9cm
浅田 彰氏蔵

40
岡崎乾二郎
ヨルダン川の知恵の水(波動関数)

2009年
油彩／カンヴァス
17×23×2.9cm
個人蔵

41
岡崎乾二郎
もともとの場所への回帰(空の袋)

2005年
油彩／カンヴァス
23.5×16×2.9cm
作家蔵

42
岡崎乾二郎
心のトモかこころのトミ(わたしのからだ)

2008年
油彩／カンヴァス
24×16×2.9cm
安西 一氏蔵

43
岡崎乾二郎
南極探検(炎天下の氷山を歩くベンギン)
2009年
油彩／カンヴァス
17×24×2.9cm
個人蔵

44
岡崎乾二郎
栗鼠の気くぼり(木に宿るもつともか弱い虫)
2007年
油彩／カンヴァス
19×14×2.9cm
斉藤 徹氏蔵

45
岡崎乾二郎
根も葉もない(涼しいめはなだち)
2007年
油彩／カンヴァス
24×16×2.9cm
作家蔵

46
岡崎乾二郎
骨と肉と筋でできた物体(深呼吸)
2007年
油彩、カンヴァス
16×23×3.5cm
岡部 あおみ氏蔵

47
岡崎乾二郎
磨かれた石のような体(ヒッポリュトスの金縛り)
2009年
油彩／カンヴァス
16×25×2.9cm
個人蔵

48
岡崎乾二郎
出来心から降ってわく(救い主)
2007年
油彩／カンヴァス
16×23×3.2cm
個人蔵

49
岡崎乾二郎
悲しみはなぜ私の顔を青くするのか(本当は楽しいのに)
2007年
油彩／カンヴァス
23×16×2.9cm
個人蔵

50
岡崎乾二郎
知り合いなのに言葉を知らない(裏庭にねている犬と軒下のつばめ)
2007年
油彩／カンヴァス
17×23×2.9cm
作家蔵

51
岡崎乾二郎
先見の明(冷えると固まる)
2007年
油彩／カンヴァス
15×18×2.9cm
作家蔵

52
岡崎乾二郎
問いと答えの(現のありさま)
2005年
油彩／カンヴァス
19×14×2.9cm
個人蔵

53
岡崎乾二郎
平らであるという想念(お愛想はナシ)
2007年
油彩／カンヴァス
16×23×3.5cm

個人蔵

54
岡崎乾二郎
雷鳴には苞がつづく(硫黄の炎で料理)
2009年
油彩／カンヴァス
17×23×2.9cm
個人蔵

55
岡崎乾二郎
槍でつかれたら困ってしまう(胃の腑)
2005年
油彩／カンヴァス
15×18×2.9cm
個人蔵

56
岡崎乾二郎
ナハビルト(犬が齧りつづけた骨)
2007年
油彩／カンヴァス
17×23×3cm
個人蔵

57
岡崎乾二郎
くれのうたまいの大笑い(千年隔て)
2007年
油彩／カンヴァス
19.5×14×2.9cm
斉藤 徹氏蔵

58
岡崎乾二郎
塩、砂糖、油脂(浴室にて)
2007年
油彩、カンヴァス
15.5×18.2×2.9cm
個人蔵

59
岡崎乾二郎
もの言う葡萄(うさぎの耳元)
2008年
油彩、カンヴァス
16×23×4cm
個人蔵

60
岡崎乾二郎
植物の有する心の活動(植物性脂肪)
2007年
油彩、カンヴァス
17×23×4.5cm
作家蔵

61
岡崎乾二郎
不可能な角度(耳と目と口)
2005年
油彩、カンヴァス
14×19×4.5cm
個人蔵

62
岡崎乾二郎
深呼吸する魚の鱗(いずれは手足)
2008年
油彩／カンヴァス
23×16×4cm
個人蔵

63
岡崎乾二郎
荒れ草の王(ヒースとはエリカ)
2009年
油彩／カンヴァス
17×23×4.5cm
個人蔵

64
岡崎乾二郎
お隣はまだ作り話(山の端の応用数学)
2007年
油彩／カンヴァス
17×23×4.5cm
作家蔵

65
岡崎乾二郎
遠く投げた石によって、少年の肩の筋と骨とは粉々に砕かれた。

距たりゆえにこの男—ダレモイナイ、自身は、自分が何をしたのか
知ることも無い。同じ母から生まれた者を殺したというのに。見える
通りその肌はつるつる滑らかなまま。けれど(だから)心が暗れる
ことはもうないだろう。感じられるのは右脚のくるぶしの痛み。そ
の痛みに大粒の涙を流す、ダレモイナイ。他国のものよ、この男と
戦うつもりなら、その鼻と耳を削ぎ落とし、犬に食わすことさえも
躊躇うことないぞ。
2005年
アクリル／カンヴァス
160×220×7cm
No.66と2枚組
作家蔵

66
岡崎乾二郎
石が屈く距離なら、隈なく見渡せるさ。よって、剥き出しになった
骸に気づくかぬ者—水を目の前に、乾いた口で飢えを我慢するよ
うな者は、だれもいない! 悲しみは消えず、きつと肌の上に残るだ
ろう(だから)、いつまでもきりなく泣くことはない。奇麗な死を願う
のであれば(食われたくなければ)。海綿と水を用意し、今すぐ洗
濯に出かけたまえ。
2005年
アクリル／カンヴァス
72.5×91×5.5cm
作家蔵

67
岡崎乾二郎
死者はきつと到着できますか(天の光は出口の合図)? 肉体もな
く翼も必要ない魂だって、こんなに上まで飛びつづけられないわ。
かつて川の畔に一本の高い高い木があり(それを猿のように攀
じ、鳥のように枝うつりし)未来の故郷へ行けると教わりました
(勉学の手引!)。木は朽ち、膝を草叢につくと「これはスマレ」。わ
たしはその名を知っています。
2008年
アクリル／カンヴァス
228×141×6.5cm
No.68、69と3枚組
作家蔵

68
岡崎乾二郎
光にとって空気は透明ではない(長入の妨げ)。だから天空には
星! つまり窓が開き、夕方には眩しい光(言葉でなく)が地上へと
どく。
2008年
アクリル、カンヴァス
141×87×6.5cm
作家蔵

69
岡崎乾二郎
空の国も(地上と似て)樹木と花々に満ち、動物も鳥も(もちろん
アヒルも兎も)いて、みんな地上より美しい! それらは確かに存在
する! 空の青さを見なさい。遠くに存在する、ものはなんでも青、
と見えるのだから。
2008年
アクリル、カンヴァス
141×141×6.5cm
作家蔵

70
岡崎乾二郎
TO邸50分の1模型
設計2001-2002cm
作家蔵

71
岡崎乾二郎
17時27分
1987年
ポリプロピレン、紙
25×30×16cm

72
岡崎乾二郎
Blue Slope
1989年
鉄、アルミ、塗料
195×200×300.5cm
千葉市美術館蔵

73
岡崎乾二郎
Yellow Slope
1989年
FRP、鉄、塗料
215×115×260cm
千葉市美術館蔵

74

岡崎乾二郎
Carmin/Aureoline/Vermilion
1979-2009年
パステル/紙
378.9×780.7cm
作家蔵

第4期 追加作品

75

岡崎乾二郎
釉彩陶磁床 ひかりとひかりのあいだにてことなり、みゆるもの
もとこれにしてそみつにあらず、すなわちけいしきのげんり、うぬが
とくにしがってめいあんをしようずる、ぶったいさぎまのちから
ごうしてつくるまぜものひとつならじ、まじれるちからぶつたいのな
かにかがやき、いくるひとみのなかによろこびのかがやく。
2009年
陶磁
30×30cm 144枚
作家蔵

76

岡崎乾二郎
釉彩陶磁床 なんじらはえさをくらひ、としへしかたきのさかなは
りにかかりてそのもにひかれ、くつわもよびもほとんどえきなし。
てんはなんじらをまねき、そのとこしへにうつくしきものをしめしつ
つなんじらをめぐる、されどなんじらのめはただちをみるのみ。こ
れにおいてかよろづのことをしりたまふものなじらをうつ。
2009年
陶磁
30×30cm 144枚
作家蔵

アトリウム

1

エルネスト・ネト
Flower 2
2008年
布、スタイロフォーム、ビーズ、ジンジャー、クローブ
サイズ可変

2

藤本由紀夫
EAR WITH CHAIR (MOT)
1990/2007年
アルミニウム、プラスチック、倉俣史朗デザインによる椅子
130×450×200cm

3

ヤノベ ケンジ
ロッキング・マンモス
2005年
鉄、機械部品、他
370×190×450cm

I. 事業報告 | 3 教育普及事業

当館では、平成7年度の開館以来、教育普及事業を通じて、鑑賞教育の充実を図ってきた。特に、美術館を都民により開かれた施設と位置づけ、地域や学校との結びつきを深めるために、ボランティアによる常設展示作品解説を毎日実施するとともに、子ども(親子含む)を対象としたプログラムにも力を入れている。

平成21年度も、あらゆる来館者が現代美術と対話し理解を深めることができるよう、来館者の知的好奇心や学習ニーズに配慮して、ギャラリートークをはじめ美術館講座、ギャラリークルーズ、ワークショップ等を実施した。

[1] MOT美術館講座

現代美術をより深く鑑賞するために、作家や研究者が現代美術に親しむためのポイントを解説し講義する、現代美術ファン層を広げ、育成するための講座。

21年度は、現代美術や美術館になじみのない方に、わかりやすく現代美術を紹介するための講座を実施した。

・第41回講座「ラグジュアリー：ファッションの欲望」関連
「ラグジュアリー：ファッションの欲望」の開催に関連し、哲学者、建築家、パフォーマーなど展覧会を多角的に捉える連続講演会、ワークショップ、パフォーマンスを実施した。

開催日時	テーマ	講師	参加者
11月21日(土)	「たかが服、されど服」	鷲田清一(哲学者)	197人
11月22日(日)	「妹島和世による親子ワークショップ」	妹島和世(建築家)	14組 (28人)
1月11日(月)	「RAP-韻訳ロミオとジュリエット」	長澄(ラップ・パフォーマー)	157人
	計		382人

[2] ワークショップ

現代美術作家を指導者に招き、共同制作することにより、参加者が現代美術の創作プロセスを体験し、現代美術に対する理解を深めてもらう活動を実施した。

①夏休み子どもワークショップ「美術館でハ・プ・ニ・ン・グ!？」
アーティスト・きくちひろこの企画・指導により「インストラクション・アート(指示する芸術)」に挑戦した。アートとは何かという根本的な問いを子どもたちにも体感してもらった。最終日は、保護者に向けた発表会も実施。また記録展示をショップ付近にて開催した。(記録展示観覧数：10,816人)

・講師：きくちひろこ(アーティスト)
・参加人員：小学校4年～6年生 14人 (事前申込制)
・日時：ワークショップ 7月31日(金)～8月2日(日)
各日10:00-15:00
記録展示 8月4日(火)～16日(日)
・場所：講堂、館内各所
・参加費：3,000円



目隠しをして美術館を見る



インストラクション作りに挑戦



発表会の様子

②大人のためのワークショップ「もう一度、図工の時間」

現代美術館に来たことがない初心者を対象に、「つくる楽しさ」を通して、現代美術の魅力を体験的に理解してもらった。「図工」という誰でも親しみのあるテーマを核に3人の講師に「理想の図工の時間」の企画を依頼。それぞれ一日完結型で気軽に参加しやすく、バラエティにとんだ3コースを用意した。

〈A.入門コース〉「イロイロどんどんナタデモ」

- ・講師：平田耕介(小学校図工専科教諭)
- ・参加人員：一般 26人 (事前申込制)
- ・日時：3月13日(土) 10:30-16:00
- ・場所：スタジオ、講堂
- ・参加費：1,000円

〈B.再発見コース〉「みるみるうちに立体作品」

- ・講師：関口光太郎(作家・養護学校教諭)
- ・参加人員：一般 20人 (事前申込制)
- ・日時：3月20日(土) 10:30-16:00
- ・場所：スタジオ、講堂
- ・参加費：1,000円



木工に挑戦

〈C. チャレンジコース〉「変身する素材たち」

- ・講師：丸山純子(美術家)
- ・参加人員：一般 15人 (事前申込制)
- ・日時：3月27日(土)10:30-16:00
- ・場所：スタジオ、講堂
- ・参加費：1,000円



クレヨンでドローイング



新聞紙でタワーを

[3] ギャラリークルーズ

学芸員と一緒に、様々なツールを使って楽しみながら美術館内や展示室をめぐり、体験的に作品鑑賞等を行う事業を、年間にわたり実施した。

①こどもギャラリークルーズ「びじゅつかんのヒミツ」

- 日時：5月23日(土)・24日(日) 13:00~15:00
- 場所：美術館内各所
- 参加対象：小学1~4年(事前申込制)
- 参加人員：5月23日(土)21人(応募総数123人)
- 5月24日(日)22人(応募総数165人)

④「ラグジュアリー：ファッションの欲望」親子で楽しむギャラリークルーズ

- 日時：12月19日(土)・20日(日) 13:00~15:00
- 場所：スタジオ、企画展示室
- 参加対象：小学1年~4年生とその保護者 (事前申込制)
- 参加人員：12月19日(土) 18組(応募総数49組)
- 12月24日(日) 20組(応募総数42組)

②ギャラリークルーズ「ひよこツアー」

- 日時：9月26日(土)・27日(日) 10:30~12:00
- 場所：スタジオ、常設展示室、企画展示室
- 参加対象：乳児とその保護者、幼稚園年少~年長とその保護者(事前申込制)
- 参加人員：9月26日(土)14組27人(応募総数157組)
- 9月27日(日)12組24人(応募総数146組)

⑤こどもギャラリークルーズ「ぼくのわたしのおすすめMOTコレクション」

- 日時：2月20日(土)・21日(日) 13:00~15:30
- 場所：スタジオ、常設展示室
- 参加対象：小学3年~6年生とその保護者 (事前申込制)
- 参加人員：2月20日13人(応募総数18人)
- 2月21日15人(応募総数18人)

③クイズ美術館キング

- 日時：11月28日(土)・29日(日) 13:00~15:00
- 場所：美術館内各所
- 参加対象：小学校とその家族、大人のグループ(事前申込制)
- 参加人員：11月28日(土)19組54人(応募総数27組)
- 11月29日(日)15組51人(応募総数25組)



「ひよこツアー」



「親子で楽しむギャラリークルーズ」



「ぼくのわたしのおすすめMOTコレクション」

[4] 人材育成

①ボランティアの育成

常設展示室のギャラリートークを担当するボランティア34人を対象として、作品解説の一層の充実・向上を図るため、研修会を実施したほか、展示替えの都度、学芸員による作品や作家等について解説を行うとともに、資料を配付した。また、毎月定例会を開催し、意見交換や連絡等を行った。

- ・ 研修内容等：常設展示の展示替え研修 2回
企画展「レベッカ・ホルン展」ガイドツアー研修 1回
ボランティア研修会
- ・ 講師 岡崎乾二郎(2010年11月8日実施)
- ・ 定例会(毎月実施) 全12回

②博物館実習の受入れ

博物館実習生として大学生を受け入れ、5日間、美術館における学芸業務等について講義と実習を行った。

- ・ 実施日：11月10日(火)～11月14日(土) ・ 人数：12名
- ・ 実習カリキュラム

実施日	10:10～12:10	13:10～15:10
11月10日(火)	美術館概要・館内案内 (企画係)	企画展について(1) (学芸課長)
11月11日(水)	常設展について (事業係)	企画展について(2) (企画係)
11月12日(木)	作品管理、収集・保存について (事業係)	美術図書室について (美術図書室司書)
11月13日(金)	教育普及について (教育普及係)	作品解説文の書き方 (企画係)
11月14日(土)	広報について (企画係広報班)	実習のまとめ

[5] 学校教育との連携

①ミュージアム・スクール(体験型の作品鑑賞)

学校団体を対象として、学芸員が対話を交えて作品解説する通年実施のプログラム。

こどもの鑑賞力や感性を高めることをねらいとし、学校ごとにカリキュラム等に応じたオリジナル・プランを作成して実施(教員研修会、学芸員による出張授業等を含む)した。尚、本年度は「ラグジュアリー：ファッションの欲望」でも実施。

対 象：小・中・高校・大学生・その他

申込方法：事前申込

参加費：無料

実施件数：127件

参加人員：4,515人



対話を交えながらの作品鑑賞



ワークシートに取り組む子どもたち

②アーティストの一日学校訪問

子どもたちが、学校の授業で、現在活躍中の美術作家と交流することにより最新のアートを体験するプログラム。美術館に来館できない遠隔地の学校にも現代美術の魅力を直に伝えることをねらいとしており、今年度は当館収蔵作家であるアーティストの石川直樹氏とともに全4校、計6回の授業を実施した。

講師	実施日	訪問先	学年	参加者数
石川直樹	1月22日	東京都立新宿高等学校	選択美術1～3年生	12人
	2月12日	東京都立新宿高等学校	選択美術1～3年生	10人
	2月4日	豊島区立巢鴨小学校	小学6年生	30人
	2月12日	多摩市立東寺方小学校	小学4年生	81人
	3月5日	東京都立芸術高等学校	美術科1～3年生	81人
	3月25日	東京都立芸術高等学校	美術科1～3年生	26人
				延べ 240人



石川直樹氏



学校訪問の様子

③鑑賞用教材の貸出

学校における鑑賞教育等に活用できるビデオテープ(DVD:3種類)、スライドキット(全7テーマ)を提供するプログラム。団体鑑賞教室の事前学習のほか、遠方で美術館に来館できない学校や、大学の博物館実習の授業等で利用された。

ビデオテープ貸出件数	9件
DVD貸出件数	30件
スライドキット貸出件数	7件



④先生のための特別研修会

学校教員が気軽に美術館を使用するきっかけをつくり、団体鑑賞教室の利用や、学校と美術館の連携のために学校教員(小・中・高・特別支援)に向けて、企画展を用いたギャラリーレクチャーを実施。

- ・「メアリー・ブレア展」「伊藤公象展」
実施日8月11日：メアリー・ブレア展
参加者数80人(応募者数97人)
伊藤公象展 参加者数40人(応募者数50人)
- ・「ラグジュアリー：ファッションの欲望」
実施日11月13日
参加者数13人(応募者数19人)

[6] ガイドスタッフによるギャラリートークの実施

①ガイドスタッフによるギャラリートーク

当館と来館者の架け橋として、現代美術を理解しやすい形で来館者に伝えるため、ガイドスタッフ34人が、常設展示室の作品解説を休館日を除く毎日実施した。

尚、今年度は、企画展(「レベッカ・ホルン展」)においても実施した。

実施回数	263回	利用人数	常設展 1,770人
			企画展 556人
			(「レベッカ・ホルン展」)
			合計 2,326人

[7] 解説印刷物等

①「収蔵作品選」の販売

当館がこれまでに収集した約3,800点にのぼる作品の中から、常設展示の中心となる105点を選び、カラー図版と解説を掲載した図録。和英併記

・販売価格：953円

②「解説シート」の配布

収蔵作品の作品解説と作家略歴を掲載した葉書大の解説カード。和英併記。

常設展示室内の当該作品の近くにある解説シートボックスに置き、来館者が自由に持って行く。

③「テーマ別ガイド」の配布

テーマごとに、収蔵作品の中から10点を選び、解説を付した、ガイドブック。全8種類。和英併記。

常設改札に置き、来館者が自由に持って行く。

④「MOT観光マップ～こどものための美術館ガイド」の配布

子どもたちに美術館内の施設や展示作品を紹介するための、イラスト入りのリーフレット。館内に置いて、来館者が自由に持って行く。

⑤「野外彫刻パズルマップ」の配布

野外彫刻をたのしく見てもらうためのパズル式リーフレット。館内の各受付に置いて、来館者が自由に持って行く。

⑥「学校向け案内」の配布

学校の団体鑑賞教室利用を促進するため、美術館で実施する学校向け事業の紹介案内。

配布方法：年度末に次年度分を、都内小・中・高校の美術担当教師あてに送付。

I. 事業報告 | 4 美術資料の収集・保存・貸出

[1] 東京都現代美術館美術資料収集実績 (平成22年3月31日現在)

区 分	油彩画	日本画	素描・水彩	版画	彫刻	工芸	写真・映像	書	その他	資料	計
既収集作品 (昭和62年度まで)	584	139	427	1,523	222	70	10	36		0	(12) 3,011
基金で取得 (昭和63年～平成8年)	124	30	24	312	28	0	15	0		1	534
都予算による取得 (平成9年度以降)	53	0	14	13	37	2	77	0	13	2	211
寄 贈 (昭和63年度以降)	71	39	51	77	31	10	95	0	18	33	425
移 管 (平成19年度)	0	0	0	0	0	0	0	0		2	2
計	832	208	516	1,925	318	82	197	36	31	38	4,183

()内は東京都美術館野外展示作品内数

[2] 東京都現代美術館美術資料収集実績 (昭和63年度～平成21年度)

年度	種別	油彩画	日本画	水彩・素描	版画	彫刻	工芸	写真・映像	その他	二次資料	小計(点)	合計	購入金額
昭和63	寄贈										0	7	85,000,000
	購入	4	2							1	7		
平成元	寄贈		1		6					1	8	195	639,076,300
	購入	20	7	1	155	4					187		
平成2	寄贈		1								1	15	384,130,000
	購入	8	2			4					14		
平成3	寄贈	2	2								4	72	2,611,251,270
	購入	38	13	2	6	7		2			68		
平成4	寄贈	2	3	4	1						10	58	1,853,152,870
	購入	34	6	3	1	4					48		
平成5	寄贈	1			1						2	10	81,390,600
	購入	4		1		3					8		
平成6	寄贈										0	148	768,390,300
	購入	1			147						148		
平成7	寄贈										0	8	216,348,000
	購入	2		2	1	3					8		
平成8	寄贈	1						1			2	48	183,282,640
	購入	13		15	2	3		13			46		
平成9	寄贈	5		2	5			1		7	20	42	145,534,442
	購入	8		7	1	5		1			22		
平成10	寄贈	4				1		15		2	22	57	134,827,000
	購入	8		1	1	7		18			35		
平成11	寄贈	1		7	40	5		36			89	120	51,835,500
	購入	6			1	4		20			31		
平成12	寄贈	7						8		1	16	16	0
	購入										0		
平成13	寄贈	13		1	1						15	15	0
	購入										0		
平成14	寄贈	2		13	1			1			17	17	0
	購入										0		
平成15	寄贈	9			1	2					12	12	0
	購入										0		
平成16	寄贈	2				7				1	10	10	0
	購入										0		
平成17	寄贈	4	2	4		1		8		5	24	24	0
	購入										0		
平成18	寄贈		5					1		8	14	22	79,935,400
	購入					2		2			8		
平成19	寄贈	9	13	17		8	10	17			74	112	79,699,440
	購入	4		1		9	1	20		1	36		
	報告									2	2		
平成20	寄贈	7	12	3	10	7				6	45	74	79,997,700
	購入	17		3		4	1	4			29		
平成21	寄贈	2			11			7	18	2	40	90	79,343,575
	購入	6		2	10	6		12	13	1	50		
合計	寄贈	71	39	51	66	31	10	95	18	33	425	1,172	7,473,195,037
	購入	177	30	38	315	65	2	92	13	3	745		
	報告									2	2		

[3] 平成21年度新収蔵作品

購入	8	19
1	村上 隆 あんなこといいな できたらいいな 2002年 リトグラフ 40×40cm シート56×56cm	レベッカ・ホルン バタフライ・ムーン 2008年 スチール、ガラス、蝶、青色顔料、鉛筆、モーター 100×70×19cm
池田亮司 data.matrix [n°1-10] 2006-09年 プロジェクター、PC、スピーカー各10台 2480×360cm サイズ可変	9	20
2	村上 隆 シャンビニオン 2002年 シルクスクリーン 55×55cm シート70×68cm	O JUN 光景図-宮城と一輪車 1998年 ガッシュ、ガラス、鉄/紙 170×119×5cm
泉 太郎 ナポレオン 2009年 DVD 2分7秒	10	21
3	村上 隆 AND THEN White 2005年 シルクスクリーン 40×40cm シート52.1×52.1cm	O JUN 曳航・積載 2005年 鉛筆、色鉛筆/紙 119×171cm
泉 太郎 ラマ 2006年 DVD 2分19秒	11	22
4	村上 隆 AND THEN White & Black 2005年 シルクスクリーン 40×40cm シート52.1×52.1cm	O JUN 脳見運転 2006年 水彩絵具、鉛筆、岩絵具/紙 171×119cm
泉 太郎 スターゲート 2009年 DVD50秒、アクリル絵具5個、紙 サイズ可変	12	23
5	村上 隆 AND THEN Black 2005年 シルクスクリーン 40×40cm シート52.1×52.1cm	O JUN 台風・体育館 2006年 顔料、ガッシュ/紙 119×171cm
前田征紀 UNIVERSAL LOVE 2009年	13	24
「IN A FIELD」 ラムダプリント、鉄、木 69.9×87.2×3.6cm	村上 隆 お花 2006年 シルクスクリーン、プラチナ箔 70×70cm シート86×86cm	福島秀子 翅 1950年 油彩/カンヴァス 92×58cm
「UNIVERSAL LIGHT」 ラムダプリント、アルミニウム、木 161.2×121.8×3.6cm	14	25
「IN THE LIGHT」 ラムダプリント、アルミニウム、木 134.8×121.8×3.6cm	村上 隆 Melting DOB D 2006年 シルクスクリーン、プラチナ箔 40×40cm シート51.2×51.2cm	福島秀子 偏執狂I 1950年 油彩/カンヴァス 66×58cm
「YOU ARE A FIELD」 ラムダプリント、アルミニウム、木、アクリル、リフレクティブフィルム、鉄 171.8×121.8×3.6cm 169.7×94.2×13cm	15	26
「I AM THE UNIVERSE-YOU ARE THE UNIVERSE」 ラムダプリント、木、アクリル 120×120×3.6cm	村上 隆 洞声プラチナム 2009年 シルクスクリーン、プラチナ箔 68.8×65cm シート78.28×75cm	福島秀子 創造の日 1955年 水彩/紙 39.8×22.9cm
「UNIVERSAL LOVE」 アクリル、リフレクティブフィルム、木、アクリルミラー、ラムダクリアプリント、FRP、サウンド、ライト 521.5×251.5×201cm	16	27
『UNIVERSAL LOVE』 作曲・演奏：JUE AND ANOA トラック数：2 再生時間：60分	ショーン・グラッドウェル Interceptor Surf Sequence 2009年 PAL DVD 14分25秒	福島秀子 外来者 1956年 水彩/紙 63×50cm
6	17	28
村上 隆 DOB JUMP 1999年 シルクスクリーン 40×40cm シート52.1×52.1cm	新潟現代美術集団GUN 『雪のイメージを変えるイベント』 2009年 iフォトモローにインクジェット	小谷元彦 Hollow: a braid no.3 2009年 FRP、ウレタン塗料 88×47×28.5cm
7	18	29
村上 隆 ブカブカ 1999年 シルクスクリーン 55×36cm シート65.7×48cm	モナ・ハトゥーム Web 2007年 クリスタル・ボール、ワイヤー サイズ可変	森 淳一 whirl 2003年 大理石 16×16.5×24.5cm
		30
		森 淳一 run 2003年 大理石 36×44×21.5cm

31 小泉明郎 お母さん 2003年 シングル・チャンネル・ビデオ 7分	SHADOW EVENT No.X 1993年 紙、透明シート、乾電池、CD片 32×26cm	4 村上 隆 Reversal D.N.A 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈
32 小泉明郎 ヒューマン・オペラXXX 2007年 シングル・チャンネル・ビデオ 17分	44 塩見允枝子 フルクサス・バランス/1995 1995年 紙34枚(うち、鍾付14枚) 36×27×5.5cm	5 村上 隆 Red Rope 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈
33 山川冬樹 The Voice-Over 1997-2008年 映像35分、コンピューター、ビデオ・プロジェクター、旧型テレビ、旧型ラジオ 他	45 塩見允枝子 日蝕の昼間の偶発的物語#1,#2,#3 月蝕の夜の偶発的物語 #1, #2, #3 2008年 小冊子6冊セット 21×14×6.5cm	6 村上 隆 Jelly Fish Eyes 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈
34 塩見允枝子 エンドレス・ボックス 1963/90年 紙 8.5×15.7×15.8cm 紙製箱34個	46 塩見允枝子 Fluxus Media Opera 1994年 ビデオ	7 村上 隆 Mushroom Bomb PINK 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈
35 塩見允枝子 スペシャル・ポエム No.1「言葉のイヴェント」 1965/2004年 マップボード、機79本 30.1×5.7×2.2cm	47 北代省三(構成・撮影)、 大辻清司(撮影) APN 1953/2003年 ゼラチン・シルバー・プリント/バライタ紙 53.5×43.6×5.4cm ポートフォリオ10点組	8 村上 隆 My Lonesome Cowboy 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈
36 塩見允枝子 スペシャル・ポエム No.2「方向のイヴェント」《フルクサス・アトラス》 1966年 紙 36.7×82.2cm	48 山口勝弘(構成)、 大辻清司(撮影) APN 1953/2002年 ゼラチン・シルバー・プリント/バライタ紙 53.5×43.6×5.4cm ポートフォリオ10点組	9 村上 隆 HIROPON 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈
37 塩見允枝子 スペシャル・ポエム No.3「落下のイヴェント」《a fluxcalendar》 1968/1992年 紙 17×13.3×3.3cm	49 斎藤義重(構成)、 大辻清司(撮影) APNのための構成 1953/1996年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.6×25.4cm	10 村上 隆 And then and then and then and then.....(Red) 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈
38 塩見允枝子 バランス・ポエム 1967年 天秤、紙 11×10×7cm	50 勅使河原蒼風(構成)、 大辻清司(撮影) APNのための構成 1953/1996年 ゼラチン・シルバー・プリント 30.7×25.5cm	11 村上 隆 And then and then and then and then.....(Blue) 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈
39 塩見允枝子 イヴェント小品集 1963-1964/2005年 紙 5×17×14cm	寄贈	12 ミゲル・リオ=ブランコ coca on fire 2008年 デジタル露光によるライト・ジェット・プリント 150×300×3.5cm 作家、ブラジル大使館寄贈
40 塩見允枝子 ウォーター・ミュージック 1992年 瓶(Editon Gallery 360°) h.8.5cm	1 泉 太郎 ステーキハウス 2009年 ミクストメディア(DVD、油彩画2点、画材、おもちゃのラッパ、テープ、ペンキ2缶、ローラー、ガムテープ) サイズ可変 作家寄贈	13 ミゲル・リオ=ブランコ visco 2008年 デジタル露光によるライト・ジェット・プリント 170×240×3.5cm 作家、ブラジル大使館寄贈
41 塩見允枝子 ウォーター・ミュージック 1990年代 瓶(Reflux edition) h.6.4cm	2 大竹富江 Gravura em metal(金属彫刻) 2008年 リトグラフ 54×75cm トミエ・オオタケ・インスティテュート寄贈	14 新潟現代美術集団GUN(羽永光利 撮影) 雪のイメージを変えるイベント 2000/1970年 デジタルプリント、パネル 宮崎俊英氏寄贈
42 塩見允枝子 音楽の小瓶#1-#14 1993年 瓶、キャプションパネル、板、インスタレーション	3 村上 隆 PARA-KITI DOB 2001年 オフセットプリント 50×50cm 小山登美夫ギャラリー寄贈	
43 塩見允枝子		

15 福島秀子 Whiter Blue(V) 1982年 アクリル／カンヴァス 100×100cm 野崎たみこ氏寄贈	21×27.3×0.7cm 作家寄贈	33 塩見允枝子 Fluxus Suite フルクサス組曲-80人の音楽の人名辞典(Edition Hundertmark) 2002年 CD (Edition Hundertmark) 作家寄贈
16 吉澤美香 に - 2 1991年 P.P.インク／ポリプロピレン 200×140cm 白井敏雄氏寄贈	24 塩見允枝子 いわば漂う粒子達 1975年 楽譜 (日本作曲家協議会版) 作家寄贈	34 塩見允枝子 フラクタル・フリーク ピアノ曲集 2005年 CD (Edition Hundertmark) 作家寄贈
17 金氏徹平 white heat 1997-2009年 タイプCプリント (78点組) 作家寄贈	25 塩見 允枝子 鳥の辞典 1978年 楽譜 (日本作曲家協議会版) 作家寄贈	35 塩見允枝子 音と詞の時空「現代日本の作曲家」シリーズNo.38 2010年 CD (フォンテック) 作家寄贈
18 小泉明郎 アメーシング・グレイス 2001年 シングル・チャンネル・ビデオ 3分30秒 作家寄贈	26 塩見允枝子 ピアニストのための方向の音楽 1990年 楽譜 (日本作曲家協議会版) 作家寄贈	36 塩見允枝子 日触の昼間の偶発的物語#1, #2, #3 1997年 ビデオ 作家寄贈
19 アントン・シュタンコウスキー Kompositionen 1991年 シルクスクリーン 60×60cm ドイツ対外文化交流研究所 (ifa)	27 塩見允枝子 もし我々が五角形の記憶装置であったなら 1979年 楽譜 (日本作曲家協議会版) 作家寄贈	37 塩見允枝子 Fluxus Trial フルクサス裁判 2001年 ビデオ (国立国際美術館版) 作家寄贈
20 塩見允枝子 スペシャル・ポエムへの招待状 1965-75年 紙 (10種) 27.7×22cm 作家寄贈	28 塩見允枝子 フラクタル・フリーク 2007年 楽譜 (自家版) 作家寄贈	38 山口勝弘 (構成)、 鈴木博義 (音楽) 試験飛行家W・S氏の眼の冒険 1953年 (1986年再制作) オートスライド (DVD変換)、77スライド、4分51秒 山口勝弘氏寄贈
21 塩見允枝子 顔のための消える音楽 (フリップ・ブック) 1960年代後半 / 2002年 フリップ・ブック 4×6.1×0.4cm 41ページ 作家寄贈	29 塩見允枝子 フルクサス・バランス ポートフォリオ 1993年 ポートフォリオ 33×24cm 作家寄贈	39 福島秀子 (構成)、 福島和夫 (音楽) 水泡は創られる 1953年 (1986年再制作) オートスライド (DVD変換)、66スライド、6分18秒 山口勝弘氏寄贈
22 塩見允枝子 ウォーター・ミュージック 1963 / 1995年 瓶 h.10.3cm 作家寄贈	30 塩見允枝子 SHADOW EVENT NO.Y 1993年 SHADOWフィルム付き小冊子 (Edition Hundertmark) 10.8×15.3×0.4cm 作家寄贈	40 グラフィック集団 (編成)、北代省三 (ディレクター) (グラフィック集団によるマイクログラフィック (袖珍写真集)) 1960年 本 8.2×8×2cm 山口勝弘氏寄贈
23 塩見允枝子 スペシャル・ポエム 1976年 冊子	31 塩見允枝子 music of group ONGAKU 1996年 CD (Hear sound art library) 作家寄贈	下記作品については、同名の既収蔵作品への追加として寄贈をうけた。 伊藤公象 アルミナのエロス 2009年 アルミナ、長石 サイズ可変 作家寄贈
	32 塩見允枝子 Concert:20-21 No.15 日本の作曲:21世紀へのあゆみ シリーズ第2期(1961-1975) -1 2001年 CD(「日本の作曲:21世紀へのあゆみ」実行委員会出版、東京コンサーツ) 作家寄贈	

[4] 作品貸出状況

総数

年度	平成21年度	年度	平成21年度
貸出先総件数	59	貸出先総作品数	178

内訳

貸出先内訳	貸出作品内訳	
	平成21年度	平成21年度
公立美術館	59	油彩画 85
私立美術館	5	日本画 14
その他新聞社等	5	彫刻・工芸 17
海外	5	素描・水彩 19
		版画 13
		その他 30

[5] 美術資料の修復

1 工藤哲巳 若い世代への賛歌―薊は開く 1968年 乳母車、傘、靴、紙袋、綿、プラスチック、ポリエステル、ストロボ・ ライト 120×100×150cm	10 小沢剛 地蔵建立 天安門広場、平成元年八月三日 1989年 写真 24.5×24.5cm	1956年 木、時計 80×80×80cm
2 工藤哲巳 X型基本体に於ける増殖性連鎖反応 1960年 紐、金属、ビニールチューブ、たわし 73×82×65cm	11 小沢剛 地蔵建立 糸満、平成二年八月十五日 1990年 写真 24.5×24.5cm	20 ナムジュン・バイク 現実の魚 生きている魚 1982年 テレビのボディ、水槽、テレビ、ビデオカメラ サイズ可変
3 村山槐多 櫻 1917年 鉛筆／紙 101×69.5cm	12 小沢剛 地蔵建立 板門店、平成四年七月二日 1992年 写真 24.5×24.5cm	21 中村貞以 春 1925年 絹本彩色 136×93.6cm
4 中村宏 砂川五番 1955年 油彩／合板 92.5×183cm	13 小沢剛 地蔵建立 聖徳記念絵画館、平成五年四月二九日 1993年 写真 24.5×24.5cm	22 梶原緋佐子 夕立 1967年 紙本彩色 184.5×109.5cm
5 トビアス・レーベルガー 母型81% 2007年 アクリル板、木、合金、塗料、マーカー、ダクトテープ、マジックテ ープ 790×557×268cm	14 小沢剛 地蔵建立 ラサ(祭り)、1993年8月12日 1993年 写真 48×24.5cm	23 江崎孝坪 政宗 1947年 紙本彩色 135×151cm
6 ダン・フレヴィン 無題(タトリンのためのモニュメント) 1967-1970年 蛍光管 243.8×80×11.4cm	15 小沢剛 地蔵建立 チベット(砂漠)、1993年8月22日 1993年 写真 53.3×106.3cm	24 鶴岡政男 リズム 1935年 油彩／カンヴァス 106×333cm
7 カールステン・ニコライ telefunken wtc -tokyo version 2009年 LCD-TV 3台、フラッシュプレイヤー 3台、ミキサー、ラック、サウ ンド サイズ可変	16 小沢剛 地蔵建立 富士山、1995年8月9日 1995年 写真 48×24cm	25 保田春彦 迷宮のある僧院 1981年 鉄 72×150×30cm、72×60×30cm
8 小沢剛 地蔵建立 テヘラン、昭和六三年八月二四日 1988年 写真 24.5×24.5cm	17 小沢剛 地蔵建立 上九一色村、1995年8月10日 1995年 写真 24×48cm	26 小林巢居人 雨ふる 1972年 岩彩／紙 152.8×107.8cm
9 小沢剛 地蔵建立 伊勢神宮、平成元年四月二日 1989年 写真 24.5×24.5cm	18 小沢剛 地蔵建立 土佐、1995年8月21日 1995年 写真 48×24cm	27 中村宏 円環列車A―望遠鏡列車 1968年 油彩／カンヴァス 182×227.5cm
	19 村上三郎 作品	28 大竹富江 Untitled 2008年 鉄 400×130×2.5cm

[6] その他

収蔵庫等における害虫生息調査を行った。

I. 事業報告 | 5 美術図書室の活動

美術図書室は、館の美術情報センターの機能を担い、その機能のうち美術に関する図書資料情報を収集、整理、保存、提供することを活動の目的とする。

一般に公開された美術に関する専門図書館として、都民および一般の来館者に対し、図書資料情報の提供、閲覧、レファレンス、複写等のサービスを行うとともに、当館の美術館事業活動を支援する調査研究機関としての活動を行う。

[1] 図書資料の収集

「東京都現代美術館図書資料収集方針」に基づき、1)日本および海外の現代美術に関するもの、2)それらを理解するために必要なもの、を購入および寄贈により収集した。

①図書

図書 1,104冊(和図書 982冊・洋図書 122冊)、展覧会カタログ 2,189冊(和カタログ 1,814冊・洋カタログ 375冊)の計 3,293冊を新たに収集した。

都内公立図書館や個人等からの寄贈の申入れについては、その後の処理を当方に任せてもらうことを条件に、受け入れている。

②雑誌

継続購入による閲覧用雑誌は、和59タイトル、洋39タイトルである。寄贈雑誌は、新たに37タイトルを受入れた。また、所蔵雑誌の充実を図るため、和雑誌のバックナンバーおよび欠号の補充等に努めた。

美術関係記事の新聞切り抜きの原紙5,008枚を購入により収集した。

③その他の図書資料

年鑑類は、35冊を新たに収集した。CD-ROM形態で刊行される美術関係資料は、利用に供するための条件整備を図る方策を模索しながら、印刷資料で代替できないものを中心に収集している。

[2] 図書資料の整理

①整理業務

図書、展覧会カタログ、年鑑類の自館整理による新規整理冊数は、3,328冊である。今後はMARCの効率的・積極的な活用により、整理作業の効率を高めていくことが課題である。新着雑誌および欠号、バックナンバー補充をした雑誌の受入(整理)冊数は、2,907冊である。

②特別整理

21年度は、下記の日程で実施した。

7月の特別整理(7月1日～8日)は正味6日間の日程で、柳瀬文庫(約1,300冊)について実施した。蔵書確認とその事後処理として、背表紙などの補修作業や、データ修正を行った。

10月の特別整理(10月7日～9日、10月13日～15日)は正味6日間の日程で、和カタログ(約3,100冊)について実施した。所蔵確認とその事後処理として、背表紙などの補修作業や、データ修正を行った。

③図書資料保存対策

閲覧による提供および蔵書点検時に発見された破損等のある図書資料 27冊(図書6冊、カタログ8冊、雑誌13冊)を再製本(外注)することによりその保全を図った。再製本に適さない劣化した図書資料については、中性紙の保護ケース(カイルラッパー)や保存用封筒等に収納するとともに、複写資料を作成し、それを閲覧に供することにより、利用と保存の両立を図った。

[3] サービス業務

21年度の開室日数は275日であった。当室は、美術に関する専門図書館として一般に公開しているが、一般利用者への個人貸出は実施していない。

入室者数は25,940人であった。

①蔵書検索

平成15年9月より、インターネットによる蔵書検索システム(OPAC)を稼動した。アクセス件数は、毎月4万件前後を推移している。また、来館者向けの図書資料の検索には、美術図書室内にOPAC端末を3台提供している。またシステムに載らない中国語、韓国語、ロシア語の図書資料については、カードによる分類目録と美術作家名目録を整備し、利用に供している。

②閲覧

出納による書庫内図書資料の利用冊数は11,257冊(1日平均41冊)である。1日平均の冊数は、18%減である。

また、戦前の主要美術雑誌の多くはマイクロフィルムによる閲覧となるため、マイクロ・リーダーとマイクロ・プリンターでの利用提供をしている。

③レファレンス・サービス

美術に関する図書資料についての質問および所蔵状況の問合せ等(レファレンス)は646件(1日平均2件)であった。その内訳は、来館によるもの529件、電話によるもの117件である。電話レファレンスは公共図書館や大学・専門図書館等からのものが引き続き増えている。FAXによる問合せ、文書による問い合わせは、平成13年以降中止している。

質問内容としては、特定作家の関連資料を求めるもの、過去に開催された展覧会カタログの所蔵確認が多い。これら質問等に当室所蔵図書資料で回答、提供できなかったものおよび今後のサービスに役立つ回答、調査経過等については記録票を作成し、ファイルして活用している。

簡単な利用案内、施設案内等(インフォメーション)は、来館・電話合わせて、10,420件あった。

④複写サービス

「東京都現代美術館美術図書室複写サービス実施要綱」に基づき、当室所蔵の図書資料について著作権の範囲内で複写サービスを実施している。

複写サービスの利用は、21年度は40,044枚(1日147枚)で、前年度比38%増となった。このうち、マイクロ複写の利用枚数は2,917枚であった。また、コピー機による複写は、カラー複写4,520枚、白黒複写32,607枚の利用があり、およそ7枚につき1枚がカラー複写である。プリンター及びコピー機各1台で対応しているため、順番待ちになることもある。

カメラ器材持ち込みによる図書資料撮影は、美術関係誌・展覧会カタログへの掲載やテレビ放映等を目的とするもの等について、著作権のある図書資料は著作権者の許諾書添付を条件として申込みを受付けている。事前申込制であり、21年度の申込みは4件であった。

⑤利用案内

美術館ホームページ上で、新着図書・カタログ・雑誌の紹介を継続的に掲載した。

また、図書室利用案内を館内各所に設置した。

[4] 美術館事業への支援・事業との連携

①学芸活動及び調査研究への支援

企画展準備等に必要図書資料の職員貸出を実施した。企画展関連図書資料の購入希望については、可能な限り対応するとともに、急行整理により速やかに提供するよう努めた。

②企画展、MOTコレクション関連資料コーナー

企画展およびMOTコレクション関連資料コーナーを設け、当室の蔵書の中からこれらに関連する資料を随時展示、紹介した、また関連資料リストを作成し展示室内で配布した。

[5] 他の美術館・関係団体等との連携

①団体貸出

当室所蔵図書資料を美術館等が展覧会展示に利用する場合に限り、「東京都現代美術館美術作品貸付要綱」に準拠し、団体貸出を実施している。

21年度は、5件17点の貸出があった。

②新着資料コーナーの設置

「新着資料コーナー」を設け、新しく受入れた図書、展覧会カタログを、継続的に紹介した。

③美術図書館横断検索の実施

平成16年3月より、東京国立近代美術館、国立西洋美術館横浜美術館、当館美術図書室の所蔵図書資料を、各館のホームページから横断的に検索できるサービスを開始した。平成18年3月には国立新美術館が加入、平成19年1月に東京都写真美術館、同年6月に東京国立博物館、同年7月に江戸東京博物館が加入し、8館10室での実施となった。

[6] その他の活動等

①図書室および図書システムの視察、調査等

美術図書室への視察、調査、アンケート等への受入・対応を行った。

その主な内容は、美術館開設準備のための調査や図書資料の収集・整理等に関するものであった。

②博物館実習生の受入れ

館の博物館学実習カリキュラムの中で、11月12日(木)午後半日、図書室での参考調査実習を実施した。

③職場体験の受入先として、高等学校2校、中学校3校の生徒に図書室の業務を体験してもらった。

[7] 美術図書室の統計

(1) 図書資料の受入統計

① 図書・展覧会カタログ

		都美より 移管	3-10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	計	
和書	図書	購入	20,634	8,658	1,709	1,679	1,881	2,240	750	689	988	608	495	486	564	41,381
		寄贈		2,031	312	431	549	62	240	254	437	354	256	461	418	5,805
		小計	20,634	10,689	2,021	2,110	2,430	2,302	990	943	1,425	962	751	947	982	57,875
	カタログ	購入	33,343	188	30	50	90	185	56	30	17	51	36	48	96	34,220
		寄贈		6,283	928	1,400	2,356	931	741	1,431	810	774	793	1,236	1,718	17,683
		小計	33,343	6,471	958	1,450	2,446	1,116	797	1,461	827	825	829	1,284	1,814	20,278
計		53,977	17,160	2,979	3,560	4,876	3,418	1,787	2,404	2,252	1,787	1,580	2,231	2,796	117,967	
洋書	図書	購入	2,998	3,182	241	180	240	333	188	36	118	74	80	63	71	7,804
		寄贈		429	10	73	39	0		3	78	46	26	45	51	800
		小計	2,998	3,611	251	253	279	333	188	39	196	120	106	108	122	12,215
	カタログ	購入	1,076	1,802	83	180	180	264	192	64	95	119	143	157	126	4,481
		寄贈		1,792	50	154	141	227	527	56	250	229	58	125	249	3,609
		小計	1,076	3,594	133	334	321	491	719	120	345	348	201	282	375	3,858
計		4,074	7,205	384	587	600	824	907	159	541	468	307	390	497	24,148	
合計	図書	購入	23,632	11,840	1,950	1,859	2,121	2,573	938	725	1,106	682	575	549	635	49,185
		寄贈		2,460	322	504	588	62	240	257	515	400	282	506	469	6,605
		小計	23,632	14,300	2,272	2,363	2,709	2,635	1,178	982	1,621	1,082	857	1,055	1,104	70,090
	カタログ	購入	34,419	1,990	113	230	270	449	248	94	112	170	179	205	222	38,701
		寄贈		8,075	978	1,554	2,497	1,158	1,268	1,487	1,060	1,003	851	1,361	1,967	23,259
		小計	34,419	10,065	1,091	1,784	2,767	1,607	1,516	1,581	1,172	1,173	1,030	1,566	2,189	72,025
年間増加冊数		58,051	13,830	2,063	2,089	2,391	3,022	1,186	819	1,218	852	754	754	857	87,886	
蔵書総数		58,051	82,416	85,779	89,926	95,402	99,644	102,338	104,901	107,694	109,949	111,836	114,457	117,750	-	

② マイクロ資料 ※14年度以降17年度まで、及び19-21年度受入実績なし

種別		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	18年度	計	
マイクロフィルム (35mm)	自館 制作	マスター	-	-	-	-	73	27	14	-	-	-	114	
		デュープ	-	3	-	-	73	27	14	-	43	-	160	
	購入 寄贈	デュープ	157	-	-	50	-	48	-	38	-	100	8	401
		デュープ	-	-	-	-	-	-	-	33	15	-	-	48
マイクロフィルム (16mm)	自館 制作	マスター	6	47	-	-	-	-	-	-	-	-	53	
		デュープ	7	48	-	-	-	-	-	-	-	-	55	
合計(リール)	購入 寄贈	マスター	6	47	-	-	73	27	14	-	0	-	167	
		デュープ	164	51	-	50	73	75	14	71	58	100	8	664
	計	170	98	-	50	146	102	28	71	58	100	8	831	
マイクロフィッシュ(枚)	購入	デュープ	-	6,232	2,226	-	-	-	-	-	-	-	8,458	

(2) 図書資料の整理統計(21年度)

	図書	カタログ	年鑑	計
和	982	1,814	35	2,831 冊
洋	122	375	0	497 冊
	1,104	2,189	35	3,328 冊

(3) 美術図書室利用統計

① 平成21年度(月別)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開室日数	26	28	24	12	28	28	6	25	24	24	24	26	275日
入室者数 (日平均)	2,356 90.6	2,818 100.6	2,219 92.5	1,116 93.0	2,647 94.5	3,092 110.4	873 145.5	2,055 82.2	1,742 72.6	2,270 94.6	2,091 87.1	2,661 102.3	25,940件 94人
リファレンス (日平均)	81 3.1	75 2.7	60 2.5	45 3.8	92 3.3	53 1.9	13 2.2	62 2.5	29 1.2	41 1.7	47 2.0	45 1.7	643件 2件
インフォメーション (日平均)	743 28.6	984 35.1	1,012 42.2	531 44.3	1,118 39.9	1,298 46.4	377 62.8	822 32.9	760 31.7	1,042 43.4	770 32.1	915 35.2	10,372件 38件
出納 (日平均)	1,185 45.6	1,117 39.9	772 32.2	582 48.5	818 29.2	1,111 39.7	361 60.2	954 38.2	1,224 51.0	1,140 47.5	1,080 45.0	913 35.1	11,257冊 41冊
複写サービス (日平均)	7,547 290.3	5,562 198.6	3,069 127.9	1,612 134.3	2,774 99.1	3,618 129.2	511 85.2	3,556 142.2	3,029 126.2	3,781 157.5	2,983 124.3	2,002 77.0	40,044枚 146枚

II. 資料 | 1 統計資料

[1] 平成21年度東京都現代美術館月別利用統計

区分 月	展覧会入場者			講堂			第一研修室			第二研修室			美術図書室				
	企画展	常設展	計	開館 日数	貸出 日数	稼働率	開館 日数	貸出 日数	稼働率	開館 日数	貸出 日数	稼働率	利用者	レファ レンス	インフォメ ーション	利用 図書	コピー サービス
	人	人	人	日	日	%	日	日	%	日	日	%	人	件	件	冊	枚
4月	8,525	7,257	15,782	26	2	7.7%	26	1	3.8%	26	8	30.8%	2,356	81	743	1,185	7,547
5月	11,418	11,575	22,993	28	8	28.6%	28	4	14.3%	28	7	25.0%	2,818	75	984	1,117	5,562
6月	10,020	9,531	19,551	24	14	58.3%	24	13	54.2%	24	7	29.2%	2,219	60	1,012	772	3,069
7月	17,005	6,422	23,427	12	3	25.0%	12	3	25.0%	12	7	58.3%	1,116	45	531	582	1,612
8月	69,806	19,059	88,865	28	5	17.9%	28	7	25.0%	28	5	17.9%	2,647	92	1,118	818	2,774
9月	94,089	19,009	113,098	28	9	32.1%	28	11	39.3%	28	4	14.3%	3,092	53	1,298	1,111	3,618
10月	38,121	5,789	43,910	6	4	66.7%	6	0	0.0%	6	2	33.3%	873	13	377	361	511
11月	22,101	10,484	32,585	25	9	36.0%	25	5	20.0%	25	4	16.0%	2,055	62	822	954	3,556
12月	19,201	7,798	26,999	24	8	33.3%	24	2	8.3%	24	6	25.0%	1,742	29	760	1,224	3,029
1月	25,915	11,285	37,200	26	13	50.0%	26	8	30.8%	26	7	26.9%	2,270	41	1,042	1,140	3,781
2月	25,019	10,342	35,361	24	13	54.2%	24	3	12.5%	24	2	8.3%	2,091	47	770	1,080	2,983
3月	21,375	11,703	33,078	26	6	23.1%	26	5	19.2%	26	6	23.1%	2,661	45	915	913	2,002
計	362,595	130,254	492,849	277	94	33.9%	277	62	22.4%	277	65	23.5%	25,940	643	10,372	11,257	40,044

II. 資料 | 2 平成21年度東京都現代美術館予算概要

[1] 受託事業

(千円)

事業名	予算額
美術館維持管理	504,298
常設展の開催	13,640
美術館教育	2,107
美術情報センターの運営	25,596
美術図書室の運営	11,580
美術資料の収集管理	9,597
収蔵作品の購入	80,000
美術館管理運営	59,547

[2] 一般会計事業

事業名	予算額
展覧会事業	221,166
ワークショップ	1,843
MOT美術講座	627
友の会の運営	1,752
現代アート発信・海外プロモート事業	53,000
新たなサービス向上策事業	25,568
事業管理	3,000

[3] 付帯事業

事業名	予算額
アートショップの運営	62
レストランの運営	3,777
駐車場の運営	2,840
その他事業	347
事業管理	1,175

II. 資料 | 3 運営組織

[1] 平成21年度東京都現代美術館職員名簿

22.3.31現在

課	係	職名	氏名	課	係	職名	氏名
管 理 課	館長		氏家齊一郎	事 業 企 画 課	事業係長(学芸)		横江 文憲
	副館長 (管理課長事務取扱)		大野 若人		次席(学芸)		加藤 弘子
	管理課長		—		主事(学芸)		藤井 亜紀
	管理係	管理係長	門馬 尚高		主事(学芸)		藪前 知子
		主任	山口 素子		図書館司書		長谷川菜穂
		主事	増淵 仁美		図書館司書		森田 夏記
	経理係	経理係長	北條 光昭		図書館司書		岩田 郁子
		主事	鶴田 順子		図書館司書		福島 瑞葉
	事業企画課長 (企画係長事務取扱)		長谷川祐子		一般事務		早川 智子
	事 業 企 画 課	企画係 (企画班)	企画係長		—	一般事務	
主任(学芸)			関 昭郎	教 育 普 及 係	教育普及係長(学芸)		郷 泰典
主任(学芸)			関 直子		主任(学芸)		森 千花
主事(学芸)			山本 雅美		主事(学芸)		武内 厚子
主事(学芸)			吉崎 和彦				
主事(学芸)		森山 朋絵					
企画係 (学芸班)		主事(学芸)	鎮西 芳美				
		主事(学芸)	西川美穂子				
		専門調査員	難波 祐子				
企画係 (広報班)		主事	野口 玲子				
		主事	小原久実子				

[2] 平成21年度東京都現代美術館運営諮問委員会及び外部評価委員会

運営諮問委員会委員

	氏名	現職
学 識 経 験 者 等	いちかわ じろう 市川 治郎	目黒区立第七中学校長
	いちかわ よしまさ 市川 芳正	(社)東京のあすを創る協会会長
	けんじょう みぎこ 見城 美枝子	青森大学教授
	こいけ かずこ 小池 一子	武蔵野美術大学名誉教授
	さかい ただやす 酒井 忠康	世田谷美術館館長
	たかしな しゅうじ 高階 秀爾	大原美術館館長
	たぐち ひろし 田口 弘	㈱ミスミ取締役
	まぶち あきこ 馬淵 明子	日本女子大学教授

(任期 平成20年4月1日から平成22年3月31日まで)

外部評価委員会委員

	氏名	現職
学 識 経 験 者 等	こばやし やすお 小林 康夫	東京大学総合文化研究科教授 (専攻、表象文化論)
	むらい よしこ 村井 良子	プランニング・ラボ代表取締役 (展示学会理事)
	ピーター・バラカン	ブロードキャスター
	ことう しげお 後藤 繁雄	エディター、京都造形芸術大学 プロデュース科教授
	みくたけ まういちろう 福武 総一郎	財団法人直島福武美術館財団理事長・地中美術館館長、 ベネッセコーポレーション会長
	わけべ としひろ 分部 登志弘	深川資料館通商店街協同組合 副理事長
	えはら きみこ 江原 貴美子	東京都現代美術館ボランティアスタッフ

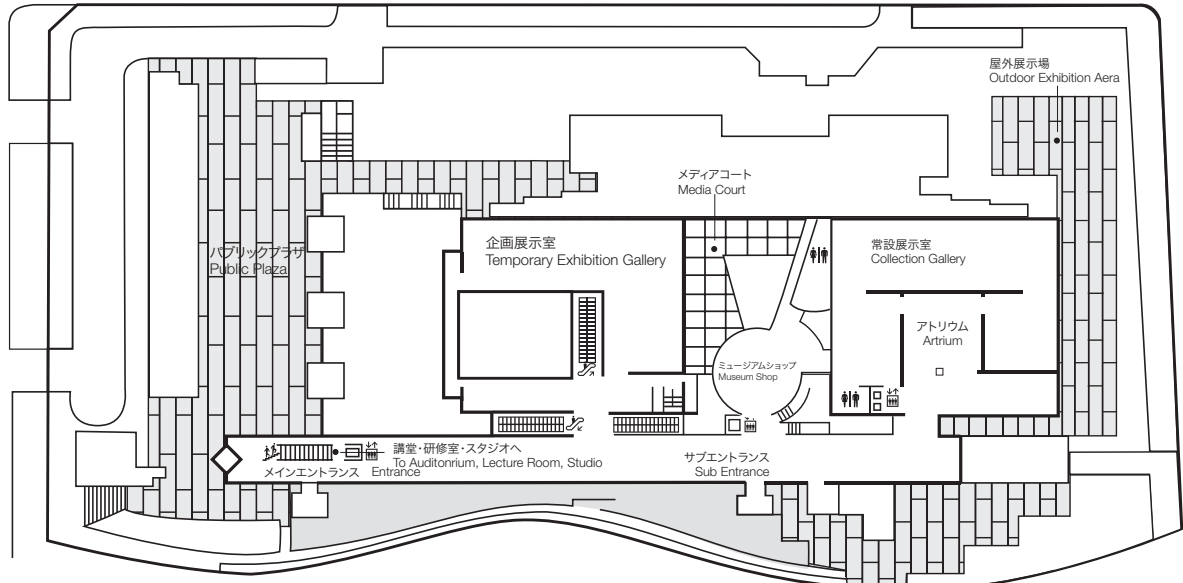
(任期 平成19年9月15日から平成22年3月31日まで)

II. 資料 | 4 施設概要

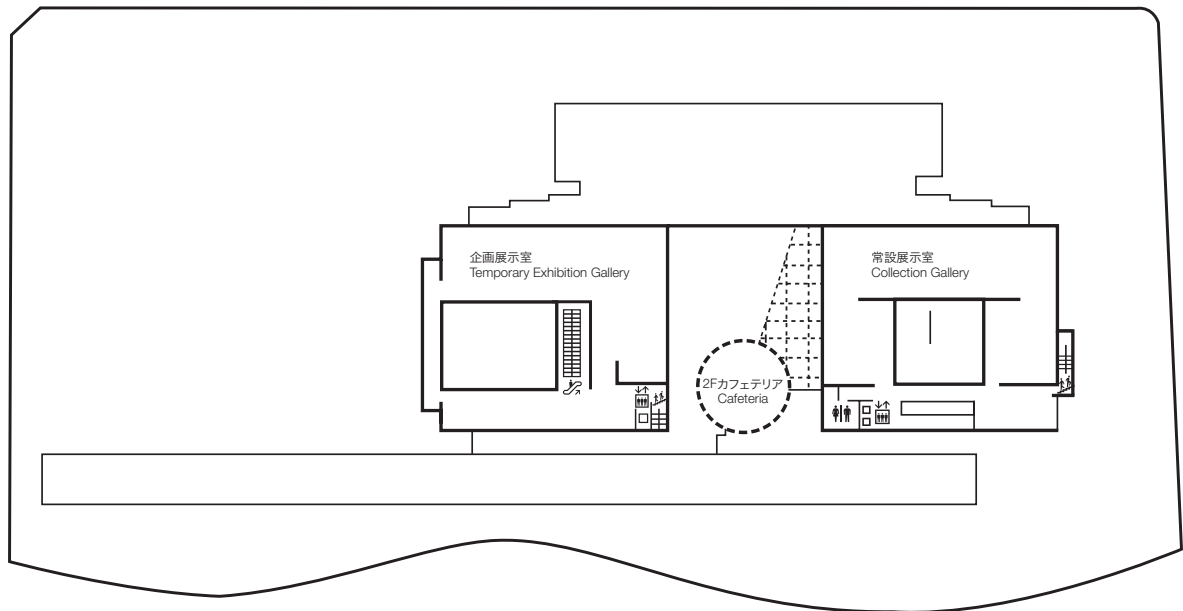
施設概要

敷地面積	23,780㎡	
建物面積	33,515㎡	
主 要 施 設	企画展示室	4,300㎡
	地下2階企画展示室	1,860㎡
	アトリウム天井高 19m	
	1階企画展示室	1,200㎡
	3階企画展示室	1,240㎡
	常設展示室	3,100㎡
	1階常設展示室	1,670㎡
	アトリウム天井高13m	
	3階常設展示室	1,430㎡
	エントランスホール	1,582㎡
	幅10m×高さ8m×奥行き140m	
	収蔵庫	
	第一収蔵庫	534㎡
	第二収蔵庫	423㎡
	第三収蔵庫	330㎡
	美術図書室	780㎡
	美術館連図書資料：約11万8千冊	
	講堂	366㎡
	座席200席(ロールバックチェア)	
	第一研修室	72㎡
第二研修室	83㎡	
スタジオ	83㎡	
ミュージアムショップ ホワイエ	432㎡	
レストラン	415㎡	
カフェテリア	200㎡	
サンクンガーデン(屋外)	1,050㎡	
水と石のプロムナード(屋外)	690㎡	
地下駐車場(B1F-B3F)	5,330㎡	

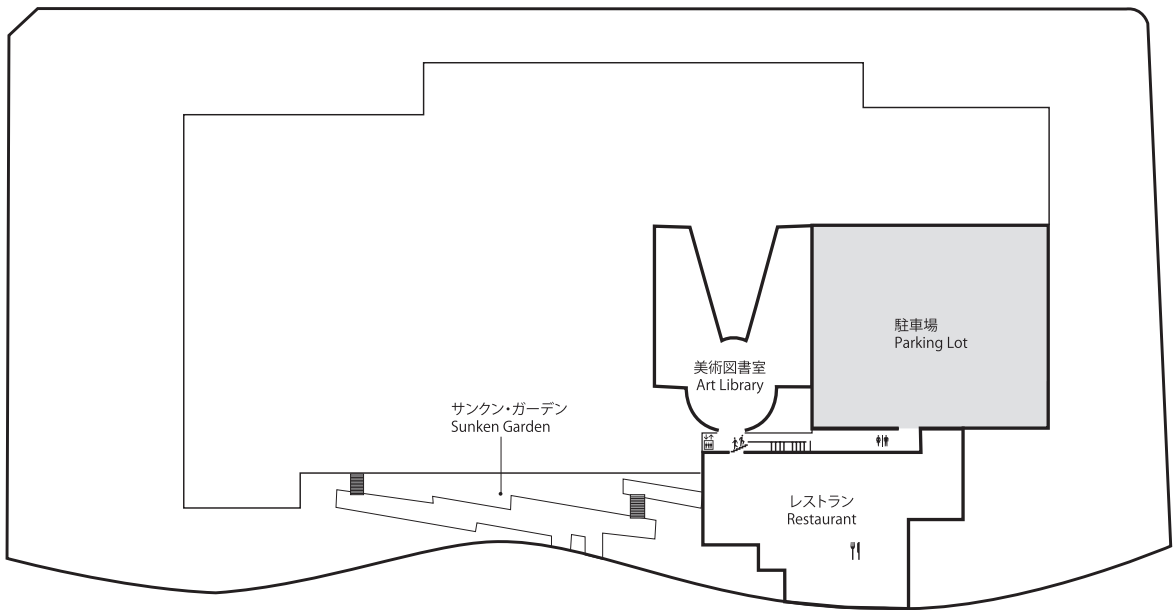
1階平面図



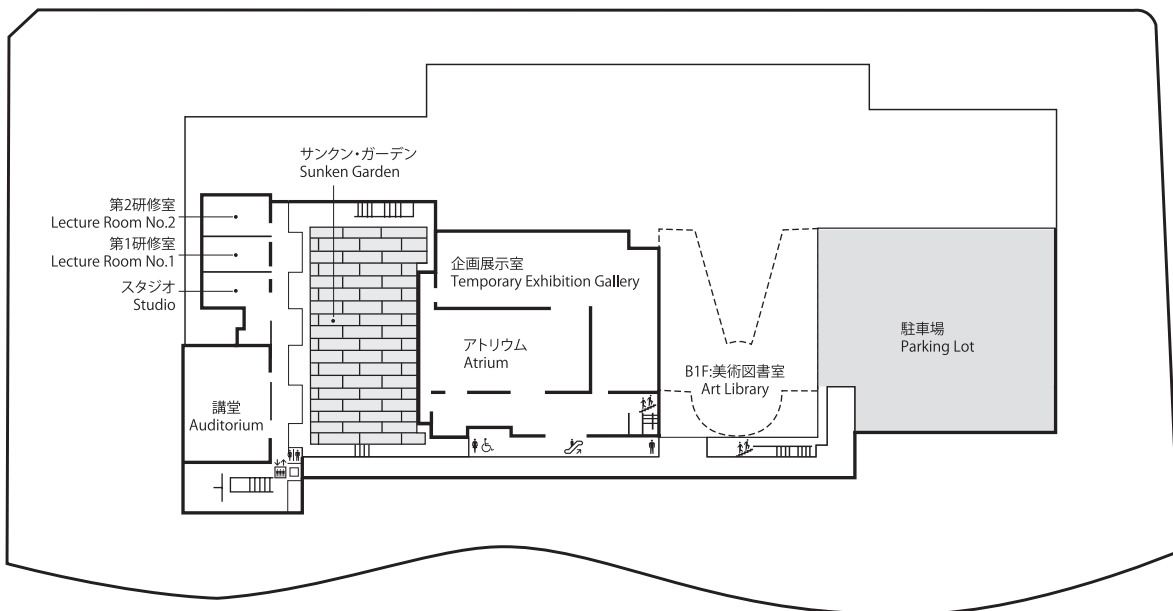
3階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図





所在地 〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1(都立木場公園内) ☎03-5245-4111(代)

- 交通
- ・東京メトロ半蔵門線「清澄白河駅」B2出口より、徒歩9分
 - ・都営地下鉄大江戸線「清澄白河駅」A3出口より、深川資料館通り経由徒歩13分
 - ・東京メトロ東西線「木場駅」より、徒歩15分または都バスで「東京都現代美術館前」下車
 - ・都営地下鉄新宿線「菊川駅」より、徒歩15分または都バスで「東京都現代美術館前」下車
(「東京都現代美術館前」は、都バス・業10系統(新橋～業平橋駅)の利用です。)
 - ・JR総武線「錦糸町駅」より、都バス・錦13系統(錦糸町～深川車庫前・晴海埠頭)で「石島」下車、徒歩約5分
 - ・JR「東京駅」丸の内北口より、都バス・東20系統「東京都現代美術館前」下車